

(家有者)「一四二」
 (里爾思有者)「二〇七」
 (旅爾之有者)「一四二」
 (念乍有者)「二二七」
 (物之無者)「二一〇」「二二三」
 (多香根者)「二二三」
 (似之不去者)「二〇七」
 (未盡者)「一九九」
 (佐母良比不得者)「一九九」
 (背之不得者)「二一〇」「二二三」
 (有不得者)「二〇七」
 (不寐者)「一九四」
 (不勝者)「一五〇」
 (人晋毛不爲者)「一八九」
 (別來禮婆)「一三三」
 (佐麻欲比奴禮者)「一九九」
 (座爾之可婆)「一六七」
 (隱夫之鹿齒)「二一〇」
 (隱西加婆)「二二三」

羽易山(二二三)
 ばかり(如此許)「八六」「二二九」
 ハカル
 はかり(分之時)「一六七」
 はぎ(萩)(秋芽子)「二三二」「二二三」
 (秋芽之)「二一〇」
 ハク
 はけ(都良絃取波氣)「九九」
 はくる(強作留行事)「九七」
 はこ(荷向篋乃)「二〇〇」
 ハサム
 はさみ(腋挾持)「二一〇」
 (脅挾持)「二二三」
 はし(石橋)「一九六」
 (打橋)「一九六」
 (御橋)「一八七」
 はし(相競端爾)「一九九」
 (安良蘇布波之爾)「一九九」
 ハシ(愛)
 はしき(愛伎妻等者)「二二〇」
 (波思吉香聞)「二二三」
 (波之伎余思)「一三一」
 二云

五二
 (早敷屋師)「一三八」
 (早布屋師)「一九六」
 はじめ(初時之)「一六七」
 はしら(宮柱)「一六七」
 (真木柱)「一九〇」
 はず(弮)(弓波受)「一九九」
 はた(幡之靡)「一九九」
 はたごら(八多籠良家)「一九三」
 ハツ
 はて(泊之)「一五一」
 はつる(泊流登麻里)「二二三」
 はな(花耳聞而)「二〇二」
 (花折挿頭)「一九六」
 (花爾有猿尾)「二二〇」
 はなちどり(放鳥)「一七〇」「一七二」
 ハナツ
 はなつ(引放箭)「一九九」
 ハナル
 はなれ(離居而)「一五〇」
 はにやす(埴安乃)「一九九」「二〇一」
 ハヌ
 はね(痛勿波禰曾)「一五三」

(痛莫波禰曾)「一五三」
 はひ(灰而)「二一三」
 はふつたの(延都多乃)「一三五」
 ハフル(葬)
 はふり(葬伊座而)「一九九」
 はふる(朝羽振)「一三一」
 (夕羽振)「一三一」
 はまべ(濱邊)「二一〇」
 はままつ(濱松)「一四一」
 はやし(冬乃林)「一九九」
 (由布乃林)「一九九」
 はやみ(逝瀬之早見)「一九九」
 (足搔乎速)「一三六」
 ハユ(生)
 はゆる(波由流)「一九六」
 はら(天原)「一四七」「一六七」
 (御門之原)「一九九」
 (百濟之原)「一九九」
 (和射見我原)「一九九」
 ハラフ
 はらひ(拂賜而)「一九九」
 はらへ(掃部等)「一九九」
 二云

はる(春冬片設而)「一九一」
 (春葉之)「二一〇」
 はるさりくれば(春去來者)「一九九」
 一云
 はるとりの(春鳥之)「一九九」
 はるぬ(春野)「二二九」「二三〇」
 はるばなの(春花之)「一六七」
 はるべ(春部者)「一九六」
 ヒ
 ひ(日)「一八八」
 (日者雖照有)「一六九」
 (日月)「二一〇」「二一〇」
 (日月之)「一六七」
 (日之目)「一九九」
 (朝日)「一七七」「一九二」
 (旦日照)「一八九」
 (相日所念)「二〇九」
 (日之盡)「一五五」「一九九」
 〇四
 ひ(火)「一九九」
 (燎火乎)「二三〇」

(燃火物)「一六〇」
 (春野燒火乃)「一九九」
 ひかり(光)「二三〇」
 ヒカル(光)
 ひかる(高光)「一七三」「二〇四」
 ひきてのやま(引手之山)「二二二」
 (引出山)「二二五」
 ヒク(引)
 ひか(吾引者)「九六」
 (引者隨意)「九八」
 (不引爲而)「九七」
 ひき(引放)「一九九」
 (引結)「一四一」
 (梶引折而)「二一〇」
 ひく(知人會引)「九九」
 (引人者)「九九」
 (足痛吾勢)「二二八」
 ひさかたの(久堅乃)「一六八」
 二〇
 (久堅之)「一六七」「二〇〇」
 (久堅能)「一九九」
 ひさに(久爾)「二二三」「二三四」

ヒヅ
 ひぢ(漬而)「一一八」
 ひづち(漕打)「一九四」
 (漕漬而)「二三〇」
 ひと(人)「二〇七」「二三〇」
 (御門之人)「一九九」
 (人社)「一三一」「一四五」
 (人乎)「一九九」
 (人爾有吾)「一六五」
 (四方之人)「一六七」
 (人者)「一四九」
 (人之云者)「二一〇」
 (人云者)「二一三」
 (知人會引)「九九」
 (引人者)「九九」
 (見人)「二三一」
 (道行人)「二〇七」
 (將結人者)「一四三」
 (人能兒故爾)「二二二」
 (人皆者)「二二四」
 (皆人乃)「九五」
 ひととお(人音)「一八九」

ひとごと(人言)(人事乎)「一一六」
 ひとひ(一日者)「一八六」
 ひとへ(千重之一隔)「二〇七」
 ひとめ(人目爾)「一七〇」
 (人目)「二〇七」
 ひとり(君之獨越武)「一〇六」
 (獨谷)「二〇七」
 ひな(夷)「二二七」
 ひのくま(作日之隅回)「一七五」
 ひのみこ(日之皇子)「一六一」「一六七」
 (日皇子)「一七三」
 (我日皇子)「一七一」
 ひむがしの(東乃)「一八四」「一八六」
 ひめじま(姫島)「二二八」
 ヒラク
 ひらき(石門乎開)「一六七」
 ひる(晝)(且者)「二二三」
 (晝者母)「一五三」
 (晝波毛)「二〇四」
 (晝羽裳)「二一〇」
 (晝夜登)「一九三」

ヒル
 ひる(乾時)「一五九」
 ひるめのみこと(日女之命)「一六七」
 ひれ(天領巾)「二一〇」「二二三」
 フ
 ふえ(笛)「一九九」一云
 ふかみる(深海松)「一三五」
 フカム
 ふかめ(深目手思騰)「一三五」
 フク(吹)
 ふき(吹響流)「一九九」
 ふく(雲居爾吹爾)「二二〇」
 フク(深)
 ふけ(佐夜深而)「一〇五」
 ふくろ(袋)(福路庭)「一六〇」
 フス
 ふし(伊波比伏管)「一九九」
 (臥居)「二〇四」
 ふす(自伏君)「二二〇」
 ふせ(臥者)「一九六」
 ふすまぢを(衾道乎)「二二二」

(衾路)「二一五」
 ふたがみやま(二上山)「一六五」
 ふたり(二人)
 (二人行杼)「一〇六」
 (吾二人見之)「二一〇」
 (吾二人宿之)「一〇九」
 (二吾宿之)「二二三」
 (吾二見之)「二二三」
 ふち(磐垣淵)「二〇七」
 フトシ
 ふとき(太心者)「一九〇」
 フトシク(四)
 ふとしき(太布座)「一六七」
 (太布座而)「一六七」
 (太敷座而)「一九九」
 ふね(榜來船)「一五三」
 (大船之)「二二二」「一六七」
 (大船)「二〇七」
 (大御船)「一五一」「一五二」
 (大舟之)「一三五」
 (船浮而)「二一〇」
 (行船乃)「二二〇」

ふはやは(不破山)「一九九」
 フム
 ふむ(蔭履路)「二二五」
 ふゆ(冬)(春冬片設而)「一九二」
 (冬乃林)「一九九」
 ふゆごもり(冬木成)「一九九」
 フル(零、落)
 ふう(落卷者後)「一〇三」
 (令落)「一〇四」
 ふり(勿落)「二〇三」
 ふる(霜者零騰文)「八九」
 (三雪落)「一九九」
 (零雪)「二〇三」
 ふれ(落者)「二三〇」
 フル(振)
 ふり(振放)「一四七」
 (振放見乍)「一五九」「一九九」
 (流觸經)「一九四」
 (振鶴)「二〇七」
 ふる(我振袖)「一三三」
 (吾振袖乎)「一三九」
 (吾袂振乎)「一三四」

フル(古)
 (流觸經)「一九四」
 ふり(古爾之鄉爾)「一〇三」
 (古之嫗)「二一九」
 ふれり(大雪落有)「一〇三」
 フ
 へ(邊附而)「一五三」
 (邊見者)「二二〇」
 (邊津加伊)「一五三」
 (海邊乎指而)「一三一」「一三八」
 へ(助)(倭邊遣登)「一〇五」
 ベシ
 べく(消倍久)「一九九」
 べし(勤多扶倍思)「二一九」
 べき(令視倍吉君)「一六六」
 べみ(人應知見)「二〇七」
 ホ
 ほか(外)(玉床之外)「二二六」
 ほし(星離去)「一六一」
 ほしけ(欲見騰)「二〇七」

はととぎす(霍公鳥)「一一二」
はのか(髣髴谷裳)「二一〇」
はのへ(穗上爾霧相)「八八」
ほむき(穗向乃所縁)「一一四」
ホユ
ほゆる(虎可叫吼登)「一九九」
ホル(欲)
ほり(欲見)「一六四」

マ

まうら(眞浦悲毛)「一八九」
マカス
まかする(取委物)「二二三」
まがひ(散之亂爾)「一三五」
まかみのはら(眞神之原)「一九九」
まがりぢ(罷道)「二一八」
まがりのいけ(勾乃池)「一七〇」
まきたつ(眞木立)「一九九」
まきばしら(眞木柱)「一九〇」
マク(枕)
まき(枕等卷而)「二二二」
(磐根四卷乎)「八手」

マク(卷)

まき(手爾卷持而)「一五〇」
(纏而)「二一七」
まく(將)(荒卷惜毛)「一六八」
(見卷苦流思母)「三二九」
(落卷者後)「一〇三」
(まくヲ加ヘテヨムモノ)
(欲見)「一六四」
まくに(塞爲卷爾)「二〇三」
まくら(枕)「二一〇」「三三三」「三三三」
六
(草枕)「一四二」
まくらつく(枕付)「二一〇」「二二三」
マケリ
まける(卷有吾)「二二三」
まさきく(眞幸有者)「一四一」
まさし(益爲爾)「一〇九」
まし(複語尾)
ませ(塞益者)「一九七」
まし(多宜麻之)「二二二」
(爲便知之也)「一九六」
(問給麻思)「一五九」

(召賜萬旨)「一五九」
(國所知麻之島宮)「一七一」
(能杼爾加有萬思)「一九七」
(與杼爾加有益)「一九七」
(纏而見麻思乎)「九一」
(家居麻之乎)「九一」
(標結麻思乎)「一五一」
(家母有猿尾)「九一」
(花爾有猿尾)「二一〇」
(問益乎)「二一〇」
(不荒有益乎)「一七三」
(有益乎)「一六三」
(死奈麻死物乎)「八六」
(成益物乎)「一〇八」
ましじ(複語尾)
(有勝麻之自)「九四」
マジル
まじり(交而)「二二四」
マス(益)
まさ(吾許會益目)「九二」
マス(座)
まさ(不座十方)「一七二」

まし(太布座而)「一六七」

(太布座)「一六七」
(太敷座而)「一九九」
(高知座而)「一六七」
(安定座奴)「一九九」
(磐隱座)「一九九」
(敷座國等)「一六七」
ませ(君座者)「一七四」
(座者)「二〇五」
(灰而座者)「二二三」
ますらを(益卜雄)「一一七」
(大夫)「一三〇」
(大夫之)「一一八」
(大夫跡)「一三五」
(大夫哉)「一一七」
まそゆふ(眞蘇木線)「一五七」
また(又將見鴨)「一八五」
(又將見香聞)「一四六」
(亦還見武)「一四一」
(亦毛將相八方)「一九五」
(復將見鴨)「一四三」
まつ(松者)「一四五」

(玉松)「一一三」

(濱松)「一四一」
(結松)「一四四」
まつがえ(岸之松枝)「一四三」
マツ(待)
また(君乎者將待)「八七」「八九」
(待爾可將待)「八五」
(待爾者不待)「九〇」
(待可將戀)「一五二」
(待加戀良武)「二二〇」
(待乍將有)「二二三」
まつ(吾乎待跡)「一〇八」
(妹待跡)「一〇七」
(吾待君)「二二四」
(待爾者不待)「九〇」
(仰而待爾)「一六七」
マツル(奉)
まつり(奉仕之)「一七六」
(座奉之)「一六七」
(裝束奉而)「一九九」
(高之奉而)「一九九」

マツロフ

まつろは(不奉仕)「一九九」
まで(助)(念麻低)「一九九」
(聞麻低)「一九九」
(聞惑麻低)「一九九」
(年替左右)「一八〇」
(見左右)「二二三」
(マデニ)(協流麻低爾)「一九九」
(見惑麻低爾)「一九九」
(霜乃置萬代日)「八七」
(生萬代爾)「二二八」
(及萬代)「一九六」
マドハス
まどはし(伊吹惑之)「一九九」
マドハセリ
まどはせる(迷流妹)「二〇八」
マドフ
まどふ(迷惑)「二〇一」
(聞惑麻低)「一九九」
(見惑麻低爾)「一九九」
まにまに(引者隨意)「九八」
まねく(眞根久往者)「二〇七」

まゆみ(數多成塗)「一六七」
まゆみのをか(信濃乃眞弓)「九六」「九七」
まゆみのをか(眞弓乃崗)「一六七」

マキル
檀崗「一七四」
檀崗「一八一」

マナス
まろり(參入之)「一八六」
まをし(申賜者)「一九九」

ミ

み(實)(實不成樹)「一〇一」
み(身)(於身副不寐者)「一九四」
み(身)(身二副寐價牟)「二二七」
み(大御身)「一九九」

み(海)(石見之海)「一三五」「一三八」
み(石見乃海)「一三一」

み(回)(作日之隅回)「一七五」
み(あらか)(御在香)「一六七」
み(いくさ)(御軍士)「一九九」
み(いのち)(御壽)「一四七」

みだり(亂而)「一九九」

(搔入津良武香)「二二三」

(亂有等母)「二二四」

(勿散亂會)「一三七」

(知里勿亂會)「一三七」云

みだれ(亂友)「一三三」

みち(道太爾不知)「二二〇」

(道之阿回)「一五」

(道來人)「二三〇」

(道之白鳴)「一五八」

(道行人)「二〇七」

(川瀨道)「二一八」

(此道乃)「一三一」

(此道之)「一三八」

(遊久道)「一三四」

(往道)「一三三」

(木丘開道乎)「一八五」

(輕路乎)「二〇七」

(行路乎)「一九三」

ミツ(滿)
みち(鹽滿來奈武)「二二二」

みおも(神乃御面)「二二〇」
みおもひ(御念)「九二」
みかさやま(御笠山)「二二三」「二二三」
四

みかど(御門之人)「一九九」

(御門之原)「一九九」

(天津御門)「一九九」

(常都御門)「一七四」

(大寸御門)「一八六」

(皇子乃御門)「一六八」

(皇子之御門)「一九九」

(皇子御門乎)「一九九」云

(島乃御門)「一八九」

(島御門)「一七三」

(吾御門)「一八三」

みけむかふ(御食向)「一九六」

みこ(皇子隨)「一九九」

(皇子之命)「一六七」

(神之皇子)「二三〇」

(日之皇子)「一六二」「一六七」

「二〇四」

(日皇子)「一七三」

(皇子之宮人)「一六七」

(皇子宮人)「一六七」云

(皇子乃御門)「一六八」

(皇子之御門)「一九九」

(皇子御門乎)「一九九」云

みこと(御言)(君之御言乎)「二二三」

(御言不御問)「一六七」

みこと(尊稱)

(神之命)「一六七」

(日女之命)「一六七」

(皇子之命)「一六七」

(孀乃命)「一九四」

みじかゆふ(短木綿)「一五七」

ミス(令見)

みせ(不令見)「一九九」

みす(令視倍吉君)「一六六」

みす、かる(三薦苜)「九七」

(水薦苜)「九六」

みたたしの(御立爲之)「一七八」「一八〇」「一八一」

(御立之)「一八八」

ミダル

みづ(水)(水傳)「一八五」

(天水)「一六七」

(逝水乃)「九二」

(進留水)「一九七」

みづほのくに(水穗之國)「一六七」

「一九九」

みどりこ(綠兒)「二二三」

(若兒)「二二〇」

みな(御名)「一九六」「一九八」

みな(人皆者)「二二四」

(皆人乃)「九五」

みなと(中乃水門)「二二〇」

みはか(御陵奉仕流)「一五五」

みはし(島御橋爾)「一八七」

みみ(耳爾好似)「二二八」

みむろどやま(三室戸山)「九四」云

みもろの(三諸之)「一五六」

みもろのやま(將見圓山乃)「九四」

みや(宮)

(香來山之宮)「一九九」

(木龜之宮)「一九六」

(淨之宮)「一六七」

(清御原乃宮)「一六一」

(島宮)「一七〇」「一七一」「一七

「一七九」

みやぢ(宮道)「一九三」

みやで(宮出毛爲鹿)「一七五」

みやばしら(宮柱)「一六七」

みやびと(皇子之宮人)「一六七」云

(皇子宮人)「一六七」云

みやびを(風流士)「二二六」「二二七」

(遊士跡)「二二六」

みやま(三山毛)「一三三」

ミュ(見)

みえ(清爾毛不見)「一三五」

(不見思者)「二二〇」

(夢所見鶴)「一五〇」

(影爾所見乍)「一四九」

みゆき(三雪落)「一九九」

みよしぬ(三吉野)「一三三」

みる(深海松)「一三五」

(深海松乃)「一三五」

ミル(見)

み(繼而見麻思乎)「九一」
 (見武爾)「九一」一云
 (還見武)「一四一」
 (妹之門將見)「一三一」
 (妹之當將見)「一三七」
 (角里將見)「一三八」
 (明日谷將見等)「一九八」
 (吾將見)「一六五」
 (後將見跡)「一四八」
 (將見鴨)「一四三」
 (見卷苦流思母)「二二九」
 (欲見吾爲君)「一六四」
 (欲見騰)「二〇七」
 (不見爾)「一二三」
 (不見在之物乎)「一七五」
 (見惑麻低爾)「一九九」一云
 (去年見而之)「二二一」「二二四」
 (見都良武香)「一三二」
 (振放見乍)「一五九」「一九九」
 (見乍)「二二五」
 (見管)「二二三」
 (相見之妹)「二二一」「二二四」

(仰見之)「一六八」
 (出見之)「二〇七」
 (君之見之髮)「一二四」
 (髣髴見之事悔敷乎)「二二七」
 (外爾見之)「一七四」
 (吾二人見之)「二一〇」
 (吾二見之)「二二三」
 (於保爾見敷者)「二一九」
 (將見香)「一三九」
 (又將見鴨)「一八五」
 (將見香聞)「一四六」
 (見監鴨)「一三四」
 (人社見良目)「一三一」「一三八」
 (見良目杼母)「一四五」
 (みる(天見如久)「一六八」
 (見人)「二三一」
 (島乎見時)「一七八」
 (見左右)「三三〇」
 (みれ(今見者)「一八一」
 (與見者)「二二〇」
 (振放見者)「一四七」
 (見者)「一九六」

(使乎見者)「二〇九」
 (吾屋乎見者)「二二六」
 (見者不恰毛)「二二八」
 (與見者)「二二〇」
 (邊見者)「二二〇」
 (目爾雖視)「一四八」
 (雖見不厭)「一九六」
 (雖見不飽)「二二〇」
 (みわ(三輪須惠)「二〇二」
 (みわやま(神山之)「一五七」
 (みる(弓絃葉乃三井)「一一一」

ム

ム(複語尾)
 む(思奴幡武)「二三三」
 (追及武)「一五」
 (過牟登)「一九九」
 (安良無等)「一九九」一云
 (繼而毛見武爾)「九一」一云
 (還見武)「一四一」
 (誰加住舞無)「一八七」
 (世武爲便)「二〇七」「二一〇」

(滿波之計武跡)「一六七」
 (所念武鴨)「一九一」
 (何禮奈牟)「一九四」一云
 (鹽滿來奈武)「一二二」
 (去別南)「一五五」
 (忍金手武)「一二九」一云
 (迎乎將往)「九〇」
 (迎加將行)「八五」
 (思將往)「一九六」
 (滿將行神乃御面)「二二〇」
 (待爾可將待)「八五」
 (君乎者將待將)「八七」「八九」
 (將相等)「二〇七」
 (將言爲便)「二〇七」
 (將言可聞)「九六」
 (將偲)「一九九」「二二五」
 (戀爾將沈)「一二九」
 (我戀將息)「八八」
 (將告登波)「一〇九」
 (往而毛將告)「二二〇」
 (誰將告)「二二六」
 (共將終登)「七六」

(妹乎將求山道)「二〇八」
 (將榮等)「一八三」
 (千代爾將流)「二二八」
 (又將見鴨)「一八五」
 (吾將見)「一六五」
 (妹之門將見)「一三一」
 (妹之當將見)「一三七」
 (角里將見)「一三八」
 (明日谷將見等)「一九八」
 (片戀將爲跡)「一七」
 (將有登)「一九九」
 (待乍將有)「二二三」
 (吾不戀有乎)「一四〇」
 (むヲ加ヘテヨムモノ)
 (相時)「一四〇」
 (爲便)「二二三」
 (如是有乃)「一五一」
 (相不勝)「二二五」
 (誰戀爾有目)「二〇二」
 (吾忘目八)「一一〇」
 (手折目杼)「一六六」
 (依目友)「九八」

ム(吾許會益目)「九二」
 (爲相八方)「一九五」
 (めヲ加ヘテヨムモノ)
 (酌爾雖行)「一五八」
 ムカフ(向)
 むかひ(立向之毛)「一九九」
 むかふ(立向)「二二〇」
 (肝向)「一三五」
 ムカフ(迎)
 むかへ(迎加將行)「八五」
 (迎乎將往)「九〇」
 ムク(向)
 むき(向來)「二二六」
 ムス(生)
 むす(蘿生萬代爾)「二二八」
 むすびまつ(結松)「一四四」
 ムスブ
 むすび(引結)「一四一」
 (將結)「一四三」
 ムスベリ
 むすべる(君之結有)「一四六」
 むた(共)(風之共)「一九九」

ムル (浪之共)「一三二」「一三八」
むれ(群居乍)「一七七」
むろかみやま(室上山)「一三五」「一云

メ

め(目爾者)「一四八」
め(目)(日之目毛)「一九九」
めぐと(目辭毛)「一九六」
メス
めし(喚賜而)「一九〇」
めす(召賜萬旨)「一五九」
めす(召賜良之)「一五九」
めす(召言毛無)「一八四」
メス
めし(所念食而)「一九九」
めづらしみ(益目頰染)「一九六」

モ

も(藻)(玉藻)「一二二」「一三一」「一三五」「一三八」「一九四」
四「一九六」「二二〇」

(荷之緒爾毛)「一〇〇」
(清爾毛不見)「一三五」
(木間從文)「一三四」
(幾毛不有)「一三五」
(昨日毛)「一八四」
(今日毛)「一八四」
(後毛將相等)「二〇七」
(如是毛安良無等)「一九九」云
(亦毛將相八方)「一九五」
(須臾毛)「一九九」
(東開毛吾忘目八)「一一〇」
(已伎太雲繁荒有可)「二二二」
(已伎太久母)「二三四」
(氣田敷藻)「一九四」
(懼母定賜而)「一九九」
(挂文忌之伎鴨)「一九九」
(言久母綾爾畏伎)「一九九」
(繼而毛見武爾)「九一」「二云」
(來毛問益乎)「二二〇」
(在管裳)「八七」
(音耳母)「一九六」
(名耳母毛)「一九六」

(玉藻成)「一三一」「一三五」
「一三八」「一九四」
(奧津藻毛)「一六一」
(川藻)「一九六」
も(裳)(玉藻)「一九四」
も(助詞)(乾時文無)「一五九」
(由緣母無)「一六七」
(脫時毛無)「一五〇」
(息時毛無)「一七七」
(召言毛無)「一八四」
(生跡毛無)「二二二」
(生刀毛無)「二二五」「二二七」
(道行人毛)「二〇七」
(御門之人毛)「一九九」
(吾母)「二二七」
(念有吾毛)「一三五」
(月牟離而)「一六一」
(檀乃岡毛)「一七四」
(水母能杼爾賀有萬思)「一九七」
(住鳥毛荒備勿行)「一八〇」
(夜床母荒良無)「一九四」
(小角之音母)「一九九」

(音母不所聞)「二〇七」
(人音毛不爲者)「一八九」
(情毛不在)「一九六」
(情毛不解)「一四四」
(目辭毛絶奴)「一九六」
(憶毛未盡者)「一九九」
(嘆毛未過爾)「一九九」
(立向之毛)「一九九」
(妻毛有者)「二二二」
(君毛不有爾)「一五四」
(君毛不有爾)「一六三」「一六四」
(家母有猿尾)「九一」
(情毛有八)「二〇七」
(三山毛清爾)「一三三」
(島乎母)「一八〇」
(妹之家毛)「九一」
(山毛越來奴)「一三一」「一三八」
(日之目毛不令見)「一九九」
(燃火物取而)「一六〇」
(日月毛不知)「二〇〇」
(宮出毛爲鹿)「一七五」
(伊勢能國爾母)「一六三」

(髣髴谷裳)「二二〇」
(然之毛將有)「一九九」
(所已乎之毛)「一九六」云
(其乎霜)「二〇四」
(島宮婆母)「一七一」
(畫者母)「一五五」
(畫波毛)「二〇四」
(畫羽裳)「二二〇」
(夜者毛)「一五五」
(夜羽毛)「二〇四」
(夜者裳)「二二〇」
(玉藻毛叙)「一九六」
(川藻毛叙)「一九六」
(吉雲會無寸)「二二〇」
(好雲叙無)「二二三」
(吾者毛也)「九五」
(明日毛鴨)「一五九」
(今日毛鴨)「一五九」
(悲毛)「一八三」「一八六」
(眞浦悲毛)「一八九」
(苦流思母)「二二九」
(不恰毛)「二二八」

(吾名之惜毛)「九三」
(隱良久惜毛)「一六九」
(荒卷惜毛)「一六八」
(行方不知毛)「一六七」
(山道不知母)「二〇八」
(鎮目金津毛)「一八〇」
(もヲ加ヘテヨムモノ)
(相縁毛無)「二二三」
(所由毛無)「一八七」
(千重之一隔毛)「二〇七」
(相不勝)「二二五」
モシ
もく(木丘開)「一八五」
もころ(玉藻乃如許呂)「一九六」
モタス
もたし(取持之)「一九九」
もちつきの(望月乃)「一六七」
「三五月」「一九六」
モツ
もち(持而)「一一三」
(取持而)「二一〇」「二二〇」
(卷持而)「一五〇」

(腋挾持)「二一〇」

(脅挾持)「二二三」

もてる(取持流)「一九九」

もとな(本名言)「二三〇」

もとほり(伊波比廻)「一九九」

モトム

もとめ(將求山道)「二〇八」

もとゆひ(吾髮結乃)「一八」

もの(物乎會念)「二二五」

(物念瘦奴)「二二二」

(取與物之無者)「二二〇」

(取委物之無者)「二二三」

ものを(死奈麻死物乎)「八六」

(成益物乎)「一〇八」

モフ(思)

もふ(吾者妹思)「一三三」

(吾孤悲念乎)「一〇二」

もへ(深目手思騰)「一三五」

もみち(山之黃葉乎)「一五九」

(黃葉乎茂)「二〇八」

もみちば(落黃葉)「一三七」

(黃葉)「一九六」「二〇九」

もみちばの(黃葉乃)「一三五」「二〇

ももえつきのき(百兄槻木)「二二三」

ももしきの(百磯城乃)「一五五」

モユ

もゆる(蜻火之燎流荒野)「二二〇」

(燎流荒野)「二二三」

(燎火乎)「二三〇」

(燃火物)「一六〇」

もり(哭澤之神社)「二〇二」

モル

もる(椎之葉爾盛)「一四二」

(筭爾盛飯)「一四二」

もろびと(諸人之)「一九九」

(諸人)「一九九」云

ヤ

や(屋)(吾屋)「二一六」

や(箭)「一九九」

や(係助詞)

(大夫哉片戀將爲跡)「二一七」

(蓋哉鳴之)「一一二」

(嫗爾爲而也)「二二九」

(泣乍在而哉)「一五五」

(人爾有吾哉)「一六五」

(相屋常念而)「一九四」

(背賜哉)「一九六」

(忘賜哉)「一九六」

(有八等)「二〇七」

(吾忘目八)「一一〇」

(爲便知之也)「一九六」

(不言也)「一六〇」

(過去計良受也)「二二二」

(萬代爾過半登念哉)「一九九」

(公相哉登)「一九四」云

(やも)(念八方)「一九八」

(不言八方)「二二四」

(將相八方)「一九五」

や(間投助詞)

(恐也御陵)「一五五」

(天飛也輕路者)「二〇七」

(石見乃也)「一三二」

やはせ(人乎和爲跡)「一九九」

やへ(八重搔別而)「一六七」

やへぐも(八重雲)「一六七」云

やほよろづ(八百萬)「一六七」

やま(山毛)「一三一」「一三八」

(山之黃葉)「一五九」

(山之四付)「一〇七」

(山之四附)「一〇七」「一〇八」

(山多都禰)「八五」

(山爾)「一五四」

(其山乎)「一五九」

(三山毛)「一三三」

(靡此山)「一三一」「一三八」

(高山之)「八六」

(秋山)「一三七」「二〇八」

(秋山之)「九二」

(秋山乎)「一〇六」

(畝傍乃山)「二〇七」

(佐美乃山)「二二二」

(羽易乃山)「二二〇」

(羽易山)「二二三」

(引手之山)「二二三」

(將見圓山)「九四」

(屋上乃山)「一三五」

(渡乃山)「一三五」

(鴨山)「二三三」

(神山)「一五七」

(二上山)「一六五」

やましみづ(山清水)「一五八」

やましな(山科)「一五五」

やまたづの(山多豆乃)「九〇」

やまち(山道)「二〇八」

(山路)「二〇八」云「二二五」

(山徑)「二二二」

やまと(山跡有)「九一」

(倭邊遺登)「一〇五」

やまぶき(山振)「一五八」

やまべまそゆふ(山邊眞蘇木綿)

「一五七」

やま(我戀將息)「八八」

(不止行者)「二〇七」

(不止出見之)「二〇七」

やむ(念息登母)「一四九」

(吾者毛也)「九五」

(やし)(早敷屋師)「一三八」

(早布屋師)「一九六」

(能咲八師)「一三一」

(吉咲八師)「一三八」

(縱畫屋師)「一三一」

(縱惠夜思)「一三八」

やかみのやま(屋上乃山)「一三五」

ヤク

やく(春野燒火)「一九九」

(春野燒)「二三〇」

ヤス

やせ(物念瘦奴)「一二二」

やすみ(覆乎安美)「九三」

やすみ(安見兒)「九五」

やすみし(八隅知之)「一五二」「一

五五」「一五九」「一六二」「一九九」

(安見知之)「二〇四」

やそくま(八十隈)「一三一」「一三八」

やちまた(八衢爾)「一二五」

やど(屋戸不借)「一二六」「二七」

ヤハス

ヤル (息時毛無)「一七七」

やる(倭邊遣登)「一〇五」
(遣悶流情)「一九六」
(遣悶流)「二〇七」

ユ

ゆ(助詞)齊宮從「一九九」

(百濟之原從)「一九九」

(中乃水門從)「二二〇」

(野邊從遊久道)「二三四」

(木間從文)「一三四」

ゆ(複語尾)所哭「二三〇」

ゆき(雪之摧)「一〇四」

(零雪者)「二〇三」

ゆき(行)君之行「八五」九〇

ユク(行)

ゆか(行者)「九三」「二〇七」

(往者)「二〇七」

(迎加將行)「八五」

(滿將行)「二二〇」

(迎乎將往)「九〇」

(入去者)「一八八」

(二人行狩)「一〇六」

ゆくとりの(去鳥之)「一九九」

ゆくへ(行方)「一六七」

(去方)「二〇一」

(歸邊)「一六七」一云

ゆくゆくと(由久遊久登)「二三〇」

ゆづるは(弓絃葉乃)「一一一」

ゆはず(弓波受)「一九九」

ゆふ(木綿)真蘇木綿「一五七」

(短木綿)「一五七」

ユフ(結)

ゆは(標結麻思乎)「一五一」

ゆふ(山爾標結)「一五四」

ゆへ(標結)「一一五」

ゆふぎり(夕霧)「一九四」「二二七」

ゆふされば

(暮去者)「一一一」「一五九」

(夕去者)「一三八」

ゆふづつの(夕星之)「一九六」

ゆふのはやし(由布乃林)「一九九」

一云

ゆふばなの(木綿花乃)「一九九」

ゆふべ(夕)「一一七」

(暮爾)「一九九」

ゆふみや(夕宮乎)「一九六」

ゆみ(弓)「一九九」

(梓弓)「九八」「九九」

ユユシ

ゆゆしき(忌之伎鴨)「一九九」

ゆゆしけれ(由遊志計禮杼母)「一九九」

九一云

ゆゑ(所虛故)「一九四」

(其故)「一六七」「一九六」

(不相君故)「一九四」

(君故爾)「二〇〇」

(人能兒故爾)「二二二」

(如此耳故爾)「一五七」

ヨ

よ(夜渡月)「一六九」

(夜之盡)「一五五」「二〇四」

(伎賊乃夜)「一五〇」

(不寐夜)「一五六」

よ(世)已母世爾「一一六」

(千代)「一八三」「二二八」

(萬代)「一七一」「一九六」「一九九」

よけく(吉雲會無寸)「二二〇」

(好雲叙無)「二二三」

ヨサス

よさし(任賜者)「一九九」

よし(因)(相因乎無見)「二二〇」

(相縁)「二二三」

ヨシ

よく(耳爾好似)「二二八」

よし(縦)(縦念息登母)「一四九」

(縦畫屋師)「一三一」

(縦惠夜思)「一三八」

(能啖八師)「一三一」

(吉啖八師)「一三八」

よし(助詞)波之伎餘思「一三一」

一云

(朝毛吉)「一九九」

(玉藻吉)「二二〇」

よしぬがは(芳野河)「一一九」

よそ(外爾見之)「一七四」

ヨソフ

よそひ(裝束奉而)「一九九」

(立儀足)「一五八」

よど(與杼爾加)「一九七」一云

よど(夜床)「一九四」

ヨドム

よどむ(不通事無)「一一九」

よなき(夜鳴變布)「一九二」

よなばり(吉隱)「二〇三」

よのなか(世間)「二二〇」

(世中)「二二三」

よひ(夕羽振)「一三一」

ヨブ

よび(喚而)「二〇七」

よも(四方之人)「一六七」

より(助)(自雲間)「一三五」

(木際從)「一三二」「一三九」

(三井能上從)「一一一」

(御念從者)「九二」

(從明日者)「一六五」

よりあひ(依相之極)「一六七」

よる(夜)(夜者)「二二三」

(夜者毛)「一五五」

(夜羽毛)「二〇四」

(夜者裳)「二一〇」

(晝夜登不云行路)「一九三」

ヨル

よら(依目友)「九八」

より(依依)「一三八」「一九四」

(此依)「一三一」「一三八」「一

九四」

(彼縁)「一三一」

(依宿之妹)「一三一」

(自伏君)「二一〇」

(縁來玉乎)「二二六」

(君爾因奈名)「一四四」

よる(來依荒磯)「二二二」

よれ(風社來縁)「一三一」

(風已曾來依)「一三八」

(浪社來縁)「一三一」

(浪已曾來縁)「一三八」

ヨレリ

よれる(穗向乃所縁)「一四四」

ヨロシ

よろしき(宜君)「一九六」

よろづたび(萬段)「一三一」「一三八」

よろづよ(萬代)「一七一」「一九六」

「一九九」

ラ

ら(等)(過去子等我)「二二七」

(志我津子等)「二二八」

(妻等者)「二二〇」

らし

(問賜良志)「一五九」

(召賜良之)「一五九」

ラム

らむ(松者知良武)「一四五」

(志怒布良武)「一三一」

(寐良武)「二二七」

(荒良無)「一九四」

(將嘆)「一三八」

(戀良武鳥者)「二二二」

(待加戀良武)「二二〇」

(搔入津良武香)「二二三」

(見都良武香)「一三二」

(君之獨越武)「一〇六」

(將見香)「一三九」

(待可將戀)「一五二」

(將散)「二二二」

らめ(人社見良目)「一三一」「一三

八」

(見良目杼母)「一四五」

ワ

わが

(連體格)(吾大王)「一六二」「一九

九」

(我大王)「一五九」

(吾王)「一六七」「一九七」「一九

八」「二〇四」

(我王)「二〇二」

(吾日皇子)「一七三」

(我日皇子)「一七一」

(標結吾勢)「一一五」

(足痛吾勢)「一二八」

(戀痛吾弟)「一三〇」

(吾勢枯乎)「一〇五」

(吾孀乃兒我)「一三八」

(吾崗之)「一〇四」

(吾里爾)「一〇三」

(吾御門)「一八三」

(吾屋)「二一六」

(吾里髮)「八七」「八九」

(吾髮結)「一一八」

(吾名)「九三」

(吾戀將息)「八八」

(主格)(吾引者)「九六」

(吾聞之)「二二八」

(吾立聞者)「二〇七」

(吾立所露之)「一〇五」

(吾榜來者)「二二〇」

(吾待君)「二二四」

(吾振袖乎)「一三九」

(我振袖)「一三二」

(吾袂振乎)「一三四」

(吾戀君)「一五〇」

(吾戀千重之一隔)「二〇七」

(吾不戀有乎)「一四〇」

(吾戀流)「二二〇」

(吾戀流其騰)「二二二」

(吾宿之)「二二〇」

(靡吾宿之)「一三八」

(二人吾宿之)「二二三」

(吾一人宿之)「一〇九」

(吾將見)「一六五」

(吾二人見之)「二二〇」

(吾二見之)「二二三」

(吾爲君)「一六四」

(吾等哭淚)「一九七」

わかくさの(若草乃)「一五三」

(若草)「二二七」

ワカル

わかれ(別來禮婆)「一三三」

(別之來者)「一三五」

ワキバサム

わきばさみ(脇挾持)「二一〇」

(脅挾持)「二二三」

わぎも(吾妹子之)「二〇七」「二二

〇」「二三」

(吾妹子與)「二〇七」「二三」

(吾妹兒)「二〇七」

(吾妹兒爾)「二二〇」

ワク

わけ(八重搔別而)「一六七」

(八重雲別而)「一六七」「一

わごおほきみ(和期大王)「一五五」

(吾期大王)「一五二」

わざ(行事)(強作留行事乎)「九七」

わがみがはら(和射見我原)「一九九」

わしり(越出乃)「二二〇」

ワスラユ

わすらえ(不所忘鴨)「一四九」

(不所忘)「一九八」「一云

ワスル

わすれ(吾忘目八)「一一〇」

(忘賜哉)「一九六」

ワタス

わたし(四我良美渡之)「一九七」

(石橋渡)「一九六」

わたす(打橋渡)「一九六」

わたつ(和多豆乃)「一三一」
 わたらひ(渡會)「一九九」
 ワタラフ
 わたらふ(渡相月乃)「一三五」
 わたりのやま(渡乃山)「一三五」
 ワタル
 わたら(未渡朝川渡)「一一六」
 (不渡而)「一三〇」
 わたり(鳴渡遊久)「一一一」
 わたる(朝川渡)「一一六」
 (度日乃)「二〇七」
 (夜渡月之)「一六九」
 (伊卷渡等)「一九九」
 (戀渡鴨)「二〇〇」
 わたれ(離度)「一一四」
 (立渡禮)「二二五」
 わらは(手童兒)「一一九」
 われ(吾)「二二六」「二三〇」
 (吾立所沾)「一〇七」
 (吾忘目八)「一一〇」
 (吾乎)「一一六」
 (吾乎鴨)「二二二」

(吾者)「一二六」「二二七」「一三三」
 三「一九三」
 (吾者毛也)「九五」
 (吾母)「二二七」
 (念有吾毛)「一三五」
 (令還吾會)「二二七」
 (吾許會)「九二」
 (人爾有吾哉)「一六五」

七〇
 忍(助)(縱惠夜思)「一三八」
 (能喚八師)「一三一」
 (吉喚八師)「一三八」
 (縱畫屋師)「一三一」

中
 るかひのをか(猪養乃岡)「二〇三」
 平ル(居)
 る(反居者)「一八七」
 (臥居雖嘆)「二〇四」
 (居明而)「八九」
 (離居而)「一五〇」
 (放居而)「一五〇」
 (下座而)「一八八」
 (遺居而)「一一五」
 (群居乍)「一七七」

ヲ
 を(緒)(荷之緒爾毛)「一〇〇」
 (強作留行事)「九七」
 を(格助詞)(入乎和爲跡)「一九九」
 (妹乎置而)「二二二」
 (妹乎將求)「二〇八」
 (依宿之妹乎)「一三一」
 (靡宿之兒乎)「一三五」
 (吾勢枯乎倭遣登)「一〇五」
 (君乎置而)「二二七」
 (御軍士乎喚賜而)「一九九」
 (御軍士乎安騰毛比賜)「一九九」
 (使乎見者)「二〇九」
 (吾乎待跡)「一〇八」
 (吾乎還利)「一二六」
 (妹之光儀乎)「二二九」
 (吾袂振乎)「一三四」

(吾振袖乎)「一三九」
 (我振袖乎)「一三一」
 (妹之手本乎)「一三一」「一云」「三八」
 (君之御言乎)「一一三」
 (後心乎知勝奴鴨)「九八」
 (後心乎知人會引)「九九」
 (世間乎背之不得者)「二一〇」
 (去方乎不知)「二〇二」
 (長命乎)「一一七」
 (馬醉木乎手折目杼)「一六六」
 (子松之宇禮乎)「一四六」
 (濱松之枝乎)「一四一」
 (黃葉乎)「一五九」
 (緣來玉乎)「一二六」
 (毛許呂裳遠)「一九一」
 (箭爾盛飯乎)「一四二」
 (燎火乎)「一三〇」
 (天雲乎)「一九九」
 (國乎治跡)「一九九」
 (食國乎定賜等)「一九九」
 (水穂之國乎)「一六七」「一九九」

(其山乎振放見乍)「一五九」
 (秋山乎)「一〇六」
 (二上山乎)「一六五」
 (島乎見時)「一七八」
 (島之荒磯乎)「一八一」
 (荒磯乎)「二二二」
 (海邊乎指而)「一三一」「一三八」
 (濱邊乎：枕爾爲而)「二一〇」
 (角乃浦回乎)「一三一」
 (木丘開道乎)「一八五」
 (作日之隅回乎)「一七五」
 (石門乎開)「一六七」
 (妹之當乎)「一三六」
 (吾屋乎見者)「二一六」
 (御在香乎)「一六七」
 (朝宮乎)「一九六」
 (夕宮乎)「一九六」
 (木甍之宮乎)「一九六」
 (木上宮乎)「一九九」
 (大殿乎)「一九九」
 (天津御門乎)「一九九」
 (大寸御門乎)「一八六」

(皇子之御門乎)「一九九」
 (皇子御門乎)「一九九」一云
 (形見何此焉)「一九六」
 (淡海乃海乎)「一五三」
 (山徑乎往者)「二二二」
 (行路乎)「一九三」
 (木旗能上乎)「一四八」
 (此年已呂乎)「一九二」
 (戀乎太爾)「二二九」一云
 (柔膚尙乎)「一九四」
 (哭耳呼)「一五五」
 (聲耳乎)「二〇七」
 (天乎波)「一六七」
 (君乎者將待)「八七」
 (君乎者)「八九」
 (島乎母)「一八〇」
 (物乎會念)「一二五」
 (吾乎鴨)「二二三」
 (所已乎之毛)「一九六」一云
 (其乎霜)「二〇四」
 をヲ加ヘテヨムモノ
 (大名兒)「一一〇」

(世中背)「二二三」
 (袋路引山)「二二五」
 (妹置而)「二二五」
 (川瀬道見者)「二二八」
 を(間投助詞)
 (津乃浦乎無美)「一三八」
 (爲便乎無見)「二〇七」
 (相因乎無見)「二一〇」
 (人目乎多見)「二〇七」
 (覆乎安美)「九三」
 (心乎痛)「一三五」
 (黃葉乎茂)「二〇八」
 (足搔乎速)「一三六」
 (海乎恐)「二二〇」
 (人事乎)「一一六」
 (迎乎將往)「九〇」
 (衾道乎引手之山)「二二二」
 (悔敷乎)「二一七」
 (吾孤悲念乎)「一〇二」
 (吾者聞流乎)「一二六」
 (間益乎)「二一〇」
 (結麻思乎)「一五一」

(繼而見麻思乎)「九一」
 (家母有猿尾)「九一」
 (花爾有猿尾)「一二〇」
 (有益乎)「一六三」
 (家居麻之乎)「九一」云
 (不荒有益乎)「一七三」
 (死奈麻死物乎)「八六」
 (成益物乎)「一〇八」
 をか(吾崗之)「一〇四」
 (眞弓乃崗)「一六七」
 (檀乃岡)「一七四」
 (猪養乃岡)「二〇三」
 をかべ(佐太乃岡邊爾)「一七七」
 八七「一九二」
 (佐田乃岡邊爾)「一七九」
 ナサム(治)
 をさめ(治賜)「一九九」
 (國乎治跡)「一九九」
 ナシ(惜)(吾名之惜毛)「九三」
 (荒卷惜毛)「一六八」
 (隱良久惜毛)「一六九」
 をしけ(雖惜)「一三五」

七二
 をすくに(食國)「一六七」云「一九九」
 をち(越乃大野)「一九四」
 をち(彼此之)「二二〇」
 をちかた(彼方野邊爾)「一一〇」
 をちぬ(越野)「一九五」
 (乎知野)「一九五」云
 をのこじもの(男自物)「二二三」
 ナフ
 をへ(共將終登)「一七六」
 ナリ(居)
 をら(家居麻之乎)「九一」云
 をれ(念居可)「二二七」
 ナル(折)
 をり(花折挿頭)「一九六」
 (梶引折而)「二二〇」
 ナチレリ
 ををれる(生乎爲禮流)「一九六」

漢字索引

一部

一(ヒト)一日者 182
 千重之一隔毛 207
 三(ミ) 三室戸山 94 或本
 三薦刈 97
 三井能上 111
 三吉野乃 113
 三山毛清爾 133
 三諸之 156
 三雪落 199
 三輪須惠 202
 三笠山 234
 (三五月)(モチツキ)三五 月
 上(ウヘ)上池有 196
 木旗能上乎 172
 荒磯乃上爾 131
 荒磯之上爾 158

三井能上從 111
 (ノへ)穗上爾霧相 88
 野上乃宇波疑 221
 木上宮乎 199
 (カミ)上瀬爾 194
 上瀬 196
 屋上乃山乃 135
 室上山 135 一云
 二上山乎 165
 (アガリ)神上 167
 上座奴 167
 (ノボル)指上日女之命 167 一云
 下(シタ)天下 162
 樹下隠 167
 五百重之下 167
 下部留妹 199
 (シモ)下瀬 196
 (オリ)島爾下座而 217
 (タダシ)神下座奉之 188

不

(フ)不破山越而 199
 (ジ)待爾者不待 90
 (ズ)屋戸不借 126
 雖見不厭 127
 池爾不潜 170
 不引爲而 97
 君不座十方 172
 妹爾不相而 125
 夜書登不云 195
 不言八面 160
 有登不言八方 224
 御言不御問 167
 不止行者 207
 不止出見之 207
 行方不知毛 167
 山道不知母 208
 道太爾不知 220
 不奉仕立向之毛 199

瀨者不渡而 210
 音母不所聞 207
 情毛不解 144
 日之目毛不令見 199
 佐不寐者 94
 名耳毛不絕 196
 清爾毛不見 135
 幾毛不有 135
 情毛不在 196
 戀乍不有者 86
 戀管不有者 120
 時不在過子等我 115
 (ナ) 君毛不有國 217
 (ナク) 君毛不有爾 165
 不有爾 164
 在常不言爾 166
 (ニ) 歸邊不知爾爲 167
 世武爲便不知爾 207
 日月毛不知戀渡鴨 210
 去方乎不知舍人者 201
 迷惑 213
 爲便不知 213

(ヌ) 吾乎鴨不知等妹之 225
 雖見不飽 220
 不相君故 194
 直爾不相香裳 148
 飽不足香裳 204
 實不成樹爾波 101
 不成樹別爾 101
 不奉仕國乎 199
 入不勝鴨 186
 不寐夜叙多 156
 不見思者 210
 比來不見爾 123
 不所忘鴨 149
 御名不所忘 198
 比來不見爾 123
 人社不知 145
 不飽鴨 179
 似之不去者 207
 人音毛不爲者 189
 於身副不寐者 194
 神爾不勝者 150
 佐母良比不得者 199

世間乎背之不得者 210
 世中背不得者 213
 聞而有不得者 207
 有不得者 207
 (ザラ) (不・有) 或本
 吾不戀有牟 140
 島御門者不荒有益 173
 (ザリ) (不・有) 乎
 不生有之草 181
 (不・在) 不見在之物乎 175
 (ザル) (不・有) 不成有者 102
 (不恰) (サビ) 浦不恰晚之 213
 (サブシ) 不恰彌可 218
 見者不恰毛 217
 (不樂) (サビ) 浦不樂晚之 210
 (不欲) (イナ)

不欲常將言可聞 96
 (不通) (ヨドム) 不通事無 119
 (不勝) (カネテム) 相不勝 225
 (猶預不定) (タユタフ) 猶預不定見者 196
 (セ) 世武爲便不知爾 207
 御名爾懸世流 210
 奈世流君香聞 222
 御名忘世奴 198
 所知食世者 167
 伊座世者 173
 (弟世) (イロセ) 弟世登吾 165
 將見 116
 (ヨ) 已母世爾 210
 世間乎 213
 世中 213
 且丘 (ク) 木丘開道乎 135
 且今日且今日 224

中 (ナカ) 野中爾 144
 世中 213
 中之水門從 220
 丹 (ニ) 常丹跡君之 206
 丹生乃河 130
 乃 (ノ) 部 淺香乃浦爾 121
 明日香乃河 194
 明日香乃真神之原 199
 吾妻乃國 199
 淡海乃海 153
 石見乃海 131
 宇陀乃大野 191
 畝火乃山 207
 清御原乃宮 162
 幸乃崎有 135

佐太乃岡邊 177
 佐田乃岡邊 187
 佐美乃山 192
 四賀乃幸崎 221
 島乃御門 152
 角乃浦回 189
 津乃浦 131
 丹生乃河 133
 羽易乃山 210
 引手乃山 212
 勾乃池之 169
 眞弓乃崗 170
 檀乃岡 167
 屋上乃山乃自雲間 174
 渡相月 135
 渡乃山 135
 猪養乃岡 205
 越乃大野 194
 葦原乃水穗之圖 187
 磐代乃岸之松枝 143
 磐代乃小松乃宇禮 146
 磐代乃野中 144

漢字索引

磐白乃濱松之枝 141
 石見之海乃言佐敝
 久幸乃崎 155
 打歌山乃木際 159
 神岳乃山之黃葉 159
 信濃乃真弓 96
 住吉乃淺香乃浦 121
 中乃水門 220
 柔田津乃 138
 埴安乃池之堤 201
 埴安乃御門之原 199
 將見圓山乃狹名葛 94
 三芳野乃玉枝之枝 113
 山科乃鏡山 155
 弓絃葉乃三井 111
 和射見我原乃行宮 199
 和多豆乃 151
 渡會乃齊宮 199
 高角山乃木間 134
 三室戶山乃 94
 大原乃 105
 狹岑之島乃荒磯面 220

東乃多藝御門 184
 東乃大寸御門 186
 背友乃國之 199
 冬乃林 199
 秋乃月夜 211
 伎賊乃夜 150
 神乃御面 220
 吾孀乃兒 158
 東人乃 100
 孀乃命乃多田名附 199
 柔膚 194
 荒磯乃上 151
 大王乃御壽 147
 吾期大王乃大御船 152
 吾大王乃所聞見爲 199
 吾王乃形見何 196
 吾王乃立者 196
 皇子乃御門 168
 皇子之命乃天下所 196
 知食世者 157
 我日皇子乃萬代爾 171
 吾日皇子乃伊座世 171

四

磯乃浦回之 175
 蔭履路乃 125
 已知碁智乃枝之 210
 野上乃宇波疑 221
 此道乃八十隈 131
 野邊乃秋芽子 251
 石見乃也高角山 255
 飼之鷹乃兒 182
 白妙乃 199
 敷妙乃袖 135
 敷妙乃衣袖 135
 敷妙乃枕 222
 色妙乃枕 217
 布栲乃手枕 100
 荷向篋乃荷之緒 199
 笛乃音波 199
 弓波受乃驟 199
 水乃與杼爾加有益 197
 小角乃音 199
 鬼乃益下雄 117
 何時邊乃方 88

漢字索引

葦若未乃足痛吾勢 128
 刈草乃束間 110
 宇都會見乃人爾有 165
 吾哉 159
 荒妙乃衣之袖 162
 神風乃伊勢能國 148
 青旗乃木旗 107
 足日木乃山 154
 神樂浪乃大山守 194
 玉垂乃越 138
 露霜乃置而之來者 151
 奴婆珠乃吾黑髮 89
 烏玉乃夜床 194
 延都多乃別之來者 155
 久堅乃天 168
 久堅乃天宮爾 204
 深海松乃深目手 155
 百磯城乃大宮人 155
 山多豆乃迎乎將往 90
 若草乃孀 155
 朝露乃如也 217
 多和郎波乃如 129

夕霧乃如也 217
 大雪乃亂而來禮 199
 夏草乃念之萎而 196
 隱沼乃 201
 霜乃置萬代日 87
 使乃言者 207
 露霜乃 158
 照月乃雲隱如 207
 夏草乃 138
 浪音乃茂濱邊 220
 柰用竹乃騰遠依子 217
 等 217
 春野燒火乃 199
 穗向乃所緣 114
 道來人乃泣淚云々 230
 若兒乃 210
 皆人乃得難爾爲云 95
 吾髮結乃漬而奴禮 218
 計禮 118
 望月乃滿波之計武 167
 黃葉乃過伊去等 207
 黃葉之散之亂爾 155

之

去鳥乃相競端 199
 逝水乃吾許會益目 90
 行船乃 220
 木棉花乃 199
 四方之人乃 167
 渡相月乃雖惜 155
 度日乃晚去之如 207
 (刀)? 151
 (ト)如有乃。 151
 (シ)(爲)木上宮乎常宮等 199
 高之奉而 199
 (用言ノ語尾)(形)望月乃 167
 滿波之計武跡 151
 波之伎余思 199
 忌之伎鴨 220
 名細之 210
 氣衝明之 215
 息衝明之 210
 朝立伊麻之豆 210
 浦不樂晚之 210
 浦不恰晚之 215

五

伊吹惑之 199
 四我良美渡之 197
 (複サ四)弓取持之 199
 大刀取帶之 199
 (キシシカ)宇都會臣跡念之時 196
 宇都會臣等念之 210
 念之時 210
 念之妹 215
 幸之。宇陀之大野 191
 飼之鷹乃兒 182
 吾聞之耳 128
 遊賜之御食向木廳之宮乎 196
 奉仕之情違奴 176
 蓋哉鳴之 112
 名延之妹 207
 神分分之時 167
 神下座奉之高照日之皇子 167
 千遍參入之東乃大寸御門 186

立向之毛 199
 袖易之君 195
 我二人宿之 109
 二人吾宿之枕付 210
 孀屋之內 210
 二吾宿之枕付孀屋內 213
 靡吾宿之敷妙之妹之手本 138
 靡寢之兒 135
 依宿之妹 131
 吾立所需之泊之登万里 105
 名積來之 151
 柰積來之 210
 相見之妹 211
 不止出見之輕市 214
 仰見之皇子乃御門堤 168
 吾二人見之趨出之堤 210
 吾二見之出立百兄 213
 槻木 213

髣髴見之事悔敷乎 217
 外爾見之檀乃岡 174
 念而有之吾 183
 有之香杼 190
 念有之妹 210
 憑有之兒等 210
 特有之妹 215
 所念之君與時時 196
 天下所知食之作良志之香來山之宮 162
 靡相之孀乃命 199
 靡相之宜君 194
 不生有之草 181
 不見在之物乎 175
 沈之妹之光儀 229
 古爾之鄉 103
 古之孀 129
 座爾之可婆 167
 隱去之鹿齒 210
 去年見而之秋乃月夜 214
 一云 167

置而之來者 131
 定之水穗國 199
 (マシ)國所知麻之島宮 171
 爲便知也 196
 採而多宜麻之家居麻之乎 221
 (ラシ)問賜良之 91
 召賜良之 159
 (マシ)有勝麻之自(助詞) 94
 物之無者 210
 取委物之無者 213
 一人之去者 210
 吾名之惜毛 93
 雪之摧之彼所爾塵家武 104
 磐根之卷有吾背之不得者 225
 別之來者 210
 旅爾之有者 142
 置而之來者 131
 似之不去者 207

所已乎之毛 196
 然之毛將有登 199
 (語幹其他) 199
 念之奈要而 131
 念之萎而 196
 安良蘇布波之爾 199
 (?)八隅知之 152
 安見知之 204
 (方)(助) 204
 妹之當 155
 妹之家 159
 妹之門 162
 妹之髮 199
 妹之光儀 156
 妹之手本 137
 妹之名 151
 吾妹兒之里 228
 宜君之朝宮 207
 君之家 207
 君之形見 238
 君之御言 113
 君之行 85

子松之宇禮 146
 子松之末 228
 濱松之枝 115
 五百重之下 205
 度日之晚去之如 141
 茂之如久 207
 吾妹子之不止出見之輕市 207
 吾妹子之形見爾置有若兒 210
 吾妹子之形見爾置有綠兒 213
 凡津子之相日 219
 君之見帥髮 124
 君之沾計武足日本之山之四附 108
 君之結有磐代乃子松 146
 妹之珠蜻髣髴谷裳不見思者 210
 往來爲君之夏草乃 210

念之萎而夕星之
 彼往此去大船之
 猶預不定見者
 妹之待乍有將
 如何君之獨越武
 君之在常不言爾
 君之所念有計類
 鳥之鳴
 199 206 166 106 225 196

(一)(助詞)

石見之海 155
 飛鳥之淨之宮 158
 百濟之原 159
 佐日之隅回 175
 狹岑之島 220
 眞神之原 199
 水穗之國 167
 木廬之宮 199
 橘之島宮 179
 香來山之宮 199
 高角山之木際 152
 渡乃山之黃葉 155
 神山之山邊眞蘇木 155

綿

勾乃池之放鳥 170
 明日香乃河之上瀨 194
 吾妻乃國之御軍士 199
 埴安乃御門之原 199
 吉隱之猪養乃岡 205
 神樂波之志賀左射 206
 禮浪 206
 樂浪之志我津子等 218
 鴨山之磐根 225
 姬島之子松 228
 高圓之野邊 251
 越乃大野之且露 255
 哭澤之神社 194
 志我津之子 202
 津守之占 218
 神之命 109
 日女之命 167
 皇子之命 167
 神之御子 230
 三諸之神之神須疑 156
 和期大王之恐也御 156

八

陵
 日之皇子 162
 日之御子 167
 天皇之神之御子之
 御駕之手火之火 250
 皇子之御門 199
 皇子之宮人 167
 御門之人 199
 四方之人 167
 東人之荷向篋 100
 吾崗之於可美 104
 天地之初時 167
 山之黃葉 159
 山之四付 107
 山之四附 103
 夷之荒野 227
 島之荒磯 181
 池之堤 201
 岸之松枝 143
 道之阿回 115
 高山之磐根 86
 秋山之樹下隱 92

秋田之穗向 114
 此道之八十隈每 158
 磯之浦回之石乍自 185
 背友乃國之眞木立
 不破山 199
 秋山之黃葉 208
 秋之田 88
 日之目 199
 孀屋之內 210
 雷之聲 199
 雪之摧 104
 楓木之已知基督乃
 枝 210
 小竹之葉 133
 椎之葉 142
 衣之袖 159
 敷妙之袖 195
 鼓之音 199
 手火之光 230
 荷之緒 100
 幡之靡 199
 橋之蔭 125

青駒之足搔

喧鳥之音 207
 鳴鳥之夜鳴 192
 池之堤之隱沼 201
 白妙之天領巾 210
 白妙之麻衣 199
 白妙之衣 230
 磯之於 166
 荒磯之上 153
 玉床之外 216
 彼此之島 220
 黃葉乃散之亂 155
 天地之依相之極 167
 天雲之八重 167
 天雲之五百重之下 205
 千重之一隔 207
 趁出之堤 210
 御立爲之島 178
 御立之島 180
 浪之共 131
 風之共 199
 日之盡 155
 199
 204

夜之盡

天之如 199
 川藻之如久 199
 玉藻之如許呂 196
 大船之津守 109
 大舟之渡乃山 135
 大船之思憑而 167
 神風之伊勢能國 163
 敷妙之袖 196
 敷妙之妹之手本 138
 玉垂之越野 195
 夏草之念之奈要而 151
 宿兄鳥之片戀孀 196
 烏玉之夜 169
 三五月之益目頰染 196
 夕星之彼往此去 196
 久堅之天河原 167
 久堅之天 200
 磐垣淵之隱耳 207
 奧津藻之名延之妹 207
 玉梓之使 209
 栲維之長命 217

玉梓之道 196 200
 天地之彌遠長久 199 250
 露霜之消者消倍久 199
 春鳥之佐欲比奴禮者 199
 秋芽之咲而散去流 120
 花爾有猿尾 120
 大船之泊流登麻里 122
 八百萬千萬神之神 122
 集集座而…… 122
 時 167
 若草乃孺之念鳥 155
 山振之立儀足山清水 158
 天皇之敷座國 167
 我大王之暮去者召 167
 賜良之云々 159
 念食而作良志之 159
 吾大王之萬代跡所 159
 念食而作良志之 159
 香來山之宮 199
 香切火之燎流荒野 213
 大夫之得物先手插 213

立向 250
 大夫之戀亂許會 118
 逝瀨之早見 119
 道之白鳴 158
 陳雲之青雲之星離 158
 去月牟離而 161
 春花之貴在等 167
 天下四方之人之大 167
 船之思憑而天水 167
 仰而待爾 167
 日月之數多成塗 167
 皇子乃御門之荒 168
 卷惜毛 168
 夜渡月之隱良久惜 168
 毛 169
 日之入去者 188
 諸人之協流麻低爾 199
 聞之恐久 199
 吾大王之天下申賜者 199
 朝霜之消者消言爾 199
 池之堤之隱沼之去 199

一〇
 方乎不知 201
 吉隱之猪養乃岡之 201
 塞爲卷爾 203
 黃葉之落去奈倍爾 209
 人之云者 210
 綠兒之乞哭別 213
 野每著而有火之風 213
 之共靡如久 199
 槻木之已知基智乃 199
 枝之春葉之茂之 199
 如久 210
 天地之初時之久堅 210
 之天河原爾八百 210
 萬千萬神之神集 210
 集而神分分之時 167
 陣雲之青雲 161
 罷道之川瀨道 218
 伊久里爾會 155
 會知余里久禮婆 199
 石根左久見乎 210
 由久遊久登 150

氣長久成奴 90
 長久天足有 147
 彌遠長久 196
 聞之恐久 199
 眞根久往者 207
 鬱悵久 220
 已伎太久母 234
 天見如久 168
 川藻之如久 196
 靡如久 199
 茂之如久 210
 言佐做久 135
 鳴渡遊久 199
 野邊從遊久道 234
 消者消倍久 199
 箭繁計久 199
 持而加欲波久 115
 言久母 199
 隱良久惜毛 169
 吾爾語久 220
 (ヒサ)久爾有勿國 252
 久爾有名國 254

久堅之 167
 久堅乃 204
 久堅能 199
 泣乍在而哉 155
 待乍將有 223
 念乍願爲騰 135
 念乍奉仕之 176
 念乍有者 227
 爲乍 196
 戀乍不有者 86
 影爾所見乍 149
 見乍將悵 225
 振放見乍 159
 群居乍吾等哭淚 177
 石乍自 185
 香乎禮流國 162
 乎知野爾過奴 195
 生乎爲禮流 196
 乎(ヲ) 196
 (?)乍共 156

妹乎置而 212
 君乎置而 227
 聲耳乎聞而 207
 緣來玉乎枕爾置 226
 世間乎背之不得者 210
 衾道乎引手乃山 212
 石門乎開 167
 天乎波所知食登 167
 妹之手本乎 131
 妹之手本乎露霜乃 131
 置而之來者 138
 海邊乎指而 131
 吾乎還利 126
 天乎波 167
 馬醉木乎手折目杼 166
 御在香乎 167
 水穗之國乎 167
 君乎者將待 87
 吾乎待跡 108
 二上山乎 165
 君之御言乎持而 115
 御軍士乎 199

木旗能上乎賀欲布 148
 物乎會念 125
 島乎母家跡 180
 秋山乎如何君之獨 106
 越武
 食國乎定賜等 199
 依宿之妹乎 151
 妹之當乎過而 156
 浪音乃茂濱邊乎 220
 木廳之宮乎 196
 木上宮乎 199
 皇子之御門乎 199
 天津御門乎 199
 御軍士乎安騰毛比 199
 賜
 靡寐之兒乎 135
 吾乎鴨不知等 225
 大寸御門乎 186
 天雲乎日之目毛不 199
 令見：
 佐日之隅回乎 175
 茂濱邊乎 220

角乃浦回乎浦無等 131
 人社見良目 151
 島之荒磯乎今見者 181
 山之黃葉乎 159
 去方乎不知 201
 強作留行事乎知跡 97
 木丘開道乎又將見 185
 鴨
 後心乎 98
 後心乎知人 99
 濱松之技乎引結 141
 吾勢枯乎倭邊遣登 105
 筥爾盛飯乎 142
 皇子御門乎 199
 燎火乎何如問者 230
 行路乎 195
 戀乎大爾 129
 柔膚尙乎 194
 朝宮乎忘賜哉 196
 人乎和爲跡 199
 吾屋乎見者 216
 吾袂振乎妹見監鴨 155

不奉仕國乎治跡 139
 其乎霜文爾恐美 204
 水穗之國乎 199
 夕宮乎背賜哉 196
 其山乎 159
 來依荒磯乎 222
 妹乎將求 208
 長命乎 217
 吾袂振乎妹將見香 154
 我振袖乎妹見都良 152
 武香 159
 子松之宇禮乎又將 146
 見香聞 178
 島乎見時 185
 木丘開道乎 199
 大殿乎振放見乍 209
 使乎見者 229
 妹之光儀乎 155
 淡海乃海乎 192
 夜鳴變布此年已呂 192
 乎
 (閒投)心乎痛 155

人目乎多見 207
 海乎恐 220
 所已乎之毛 196
 黃葉乎茂 208
 津之浦乎無美 138
 相因乎無見 210
 人事乎繁美許知痛 116
 美
 爲便乎無見 207
 足搔乎速 136
 覆乎安見 93
 迎乎將往 90
 吾孤悲念乎 102
 吾者聞流乎 126
 事悔敷乎 217
 來毛問益乎 220
 標結麻思乎 151
 繼而見麻之乎 91
 伊勢能國爾母有益 165
 乎 91
 家居麻之乎 175
 不荒有益乎 175

死奈麻死物乎 86
 成益物乎 108
 不見在之物乎 175
 乏(トモシ)文爾乏寸 162
 乘(ノリ)乘爾家留香問 100
 乙部
 乞(コチ)乞通來禰 130
 (コヒ)乞泣每 210
 乞哭別 213
 也(ヤ) 129
 姬爾爲而也 196
 爲便知之也 129
 過去計良受也 221
 吾者毛也 95
 石見乃也 152
 恐也 155
 天飛也 207
 (讀マヌモノ)朝露乃如也 217
 夕霧乃如也 217
 乾(ヒル)乾時文無 159
 亂(マガヒ)散之亂爾 135
 (ミダリ)亂有等母 124

勿散亂會 157
 亂而來禮 199
 (ミダレ)亂友 155
 (礼)誤)戀亂許會 118
 事(コト) 1部
 人事乎 116
 不通事無 119
 髻髻見之事 217
 (コチタカリ)事痛有登母 114
 行事(ワザ)強作留行事乎 97
 二部
 (ニ)(助詞)身二副寐價牟 217
 山之四附二 107
 山之四付二 107
 何時邊乃方二 88
 知跡言莫君二 97
 絕多日二 122
 (複語尾) 133

尙戀二家里 (フタ)二上山乎 (フタリ)携手吾二見之 二吾宿之 (二人)(フタリ) 二人行杼 我二人宿之 吾二人見之 二人吾宿之 云(イハ)夜晝登不云 (イヘ)人之云者 人云者 (トフ)得難爾爲云 神會著常云 五(イ)五百重之下爾 (三五月)(モチツキ)三五 月之 井(キ)三并能上從

十部

交(マジリ)貝爾交而 亦(マタ)亦還見武

亦毛將相八方

人部 (ニ)泊之登萬里人 (ヒト)人應知見 人之云者 人云者 人皆者 人乎和爲跡 人爾有吾哉 人者反而 人者縱 人社不知 人社見良目 人能兒故爾 道來人乃 知人會引 引人者 道行人毛 見人無爾 御門之人毛

人部

四方之人 人音毛不爲者 人事乎 人目乎多見 人目爾戀而 宇真人佐備而 大宮人者 皇子之宮人 皆人乃 諸人 諸人之 東人乃 (舍人)(トネリ) 舍人者迷惑 (二人)(フタリ) 二人行杼 二人吾宿之 我二人宿之 吾二人見之 今 (イマ)今波長跡 今見者

今日(ケフ)

今叙悔 今日毛鴨 昨日毛今日毛 且今日且今日

仕

(奉仕)(ツカフ) 御陵奉仕流 (マツロフ) 不奉仕國 不奉仕立向之毛 (ツカヘマツル) 奉仕之

付(ツク)

枕付 山之四付二

代

(ヂ) 蘿生萬代爾 霜乃置萬代日 (シロ)磐代乃 (ヨ) 千代常登婆爾 千代爾將流

令(ス) 令視倍吉君之

(シメ)令落 (シシ)令還吾會 (セ)日之目毛不令見 仰(アフグ) 仰而待爾 仰見之

任(ヨサシ)

任賜者 伊勢能國 伊久里爾會

伊(イ)

萬代 萬代爾 萬代跡 及萬代 令(ス) 令視倍吉君之 (シメ)令落 (シシ)令還吾會 (セ)日之目毛不令見 仰(アフグ) 仰而待爾 仰見之 任(ヨサシ) 任賜者 伊勢能國 伊久里爾會 伊(イ) 伊勢能國 伊久里爾會 朝立伊麻之互 伊座世者 葬伊座而 妹者伊座等 伊波比伏管 伊波比廻

伎(キ)

伊吹惑之 伊卷渡等 朝立伊行而 奧津加伊 邊津加伊 伎賊乃夜 已伎大雲 已伎太久母 綾爾畏伎 波之伎余思 愛伎妻等者 忌之伎鴨 長等思伎

伏(フス)

自伏君之 伊波比伏管

伺

(伺侍)(サモラフ) 雖伺侍

似(ニル)

耳爾好似

獨谷似之不去者 207

位

(跡位)(シキ)(跡位浪立) 220

低

(テ) 念麻低 199

聲登聞麻低 199

聞惑麻低 199

協流麻低爾 199

見惑麻低爾 199

一云

住

(スム)家跡住鳥毛 180

(スマ)誰加住舞無 187

(スミ)住吉乃 121

佐

(サ) 佐太乃岡邊爾 177

佐田乃岡邊爾 187

佐日之隅回乎 175

佐美乃山 221

佐夜深而 105

言佐徹久 135

佐倍 198

佐不寐者 94

一云

余

波之伎余思 131

會知余里久禮婆 199

作

(ツクラ)作良志之 199

(シ)慮作而見者 220

(ハクル)強作留行事乎 97

使

(ツカヒ)使乃言者 207

使乎見者 209

來

(遣使)(ツカハシ)遣使 199

(キ)來毛問益乎 220

鹽滿來奈武 121

山毛越來奴 151

里放來奴 138

風已曾來依 138

浪已曾來依 158

浪社來緣 131

來依荒磯乎 222

家來而 216

奈何可來計武 163

(クル)次來 220

(爲便)(スベ)

爲便知之也 196

爲便乎無見 207

將言爲便 207

世武爲便不知爾 210

爲便不知 213

保

(ホ)於保爾見敷者 219

信

(信濃)(シナヌ)信濃 96

倍

(ベ)落去奈倍爾 209

勤多扶倍思 128

令視倍吉君之 166

消者消倍久 199

佐倍 198

候

(侍候)(サモラヘ) 雖侍候 199

借

(カス)屋戸不借 126

127

榜來船 153

道來人乃 250

緣來玉乎 226

(クレ)明來者

置而之來者 138

隱比來者 138

春去來者 199

別之來者 135

吾榜來者 220

飛反來年 182

名積來之 210

奈積來之 213

乞通來禰 130

(キタレ)亂而來禮 199

(キニ)過而來計類 156

當者隱來計留 156

(キヌ)別來禮婆 133

(ケリ)外向來 216

(ケル)生爾來鴨 181

往來(カヨフ) 往來爲君之 196

比來(コノゴロ) 196

侍

(ク)(假名)香來山之宮 199

(侍宿)(トノキ) 侍宿爲鴨 174

侍宿爲爾往 179

(伺侍)(サモラフ) 雖伺侍 184

(侍候)(サモラフ) 雖侍候 199

依

(ヨラ)依目友 98

風社依米 131

(ヨリ)彼依此依 131

彼緣此依 131

依宿之妹乎 151

(ヨル)來依荒磯乎 222

(ヨレ)風已曾來依 138

浪已曾來依 138

(ヨリ)天地之依相之極 167

(ヨル)騰遠依子等者 217

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

199

倭(ヤマト)

倭邊遣登

105

偲(シヌブ)

懸而將偲

199

備(ビ)

見乍將偲

225

荒備勿行

172

宇真人佐備而

180

裏佐備晚

159

傳(ツタフ)

天傳

135

水傳

185

價(ケ)

身一副寐價牟

217

儀

(ヨソヒ)立儀足

158

(光儀)

妹之光儀乎

220

儿部

兄(エ)

宿兄鳥之

196

百兄楓木

213

參入(マキリ)千遍參入之

搔入(ミダリ)

搔入津良武香

內(ウチ)孀屋之內爾

孀屋內爾

125

210

215

八部

八(ハ)

八多籠良家

(ヤ)天雲之八重

八衢爾

八十隈每

八百萬

八隅知之

情毛有八等

吾忘目八

不言八面

亦毛將相八方

將見等念八方

有登不言八方

能啖八師

吉啖八師

194

一云

公(キミ)公毛相哉登

158

131

224

198

195

160

110

207

152

155

159

162

199

199

167

131

135

194

217

213

194

217

199

153

113

213

187

197

85

一云

凡(オホ)凡津子之

219

凵部

出(イデ)不出出見之

出立

(デ)宮出毛爲鹿

引出山

趨出之

210

215

175

213

207

刀部

刀(ト)生刀毛無

(タチ)劍刀

(大刀)(タチ)大刀取帶之

分(ハカリ)神分分之時爾

切(キロ)香切火之

初(ハジメ)天地之初時之

別(ワカレ)別來禮婆

別之來者

去別南

(ワケ)八重搔別而

(ゴトニ)不成樹別爾

乞哭別

215

101

167

155

135

167

153

199

199

167

215

199

167

217

227

力部

加(カ)奥津加伊

邊津加伊

持而加欲波久

隱西加婆

誰加住舞無

與杼爾加有益

迎加將行

153

153

113

213

187

197

85

一云

利(リ)安見兒衣多利

吾乎還利

刺(サス)茜刺

赤根刺

刺竹

刺竹之

(サシ)入日刺奴禮

(刺有)(サセル)枝刺有如

副(ソヘ)於身副不寐者

身一副寐價牟

割(サク)石根割見而

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

劔 劔刀

199

194

217

213

217

194

217

199

153

113

213

187

197

85

待加戀良武 220
 何時跡知而加 140
 神柄加 220
 國柄加 220
 勇(イサ)勇魚取 138
 動(散動)(サツク)白浪散動 220
 勝(カツ)有勝麻之自 94
 (カテ)知勝奴鴨 98
 入不勝鴨 186
 (タヘ)神爾不勝者 150
 (不勝)(カネ)相不勝 225
 勢(セ)伊勢能國 162
 標結吾勢 165
 足痛吾勢 128
 吾勢枯乎 105
 有巨勢濃香毛 119
 豫知勢婆 151
 勤(ツトメ)勤多扶倍思 128

勺部

勾(マガリ)勾乃池之 170
 勿(ナ)勿念跡 140

ト部

ト(ラ)鬼乃益卜雄 109
 占(ウラ)津守之占爾 117

尸部

卷(マキ)磐根四卷手 86
 手爾卷持而 150
 枕等卷而 222
 伊卷渡等 199
 落卷者後 103
 荒卷惜毛 168
 塞爲卷爾 205
 見卷苦流思母 229
 (卷有)(マケル) 225
 磐根之卷有 225

匚部

匣(クシゲ)玉匣 95
 94
 或本

十部

十(ソ)八十隈每 131
 (十方)(トモ)君不座十方 138
 千(チ)千萬神之 172
 千代常登婆爾 167
 千代爾將流 183
 千重之一隔毛 207
 千遍參入之 228
 千磐破 186

厂部

原(ハラ)御門之原爾 199
 眞神之原爾 199
 百濟之原從 199
 和射見我原乃 199

南(ナム)去別南 161
 向南山(キタヤマ) 155

ム部

葦原乃 167
 清御原乃 162
 大原乃 105
 天原 147
 (河原)(カハラ)天河原爾 167

去(サラ)暮去者 121
 (サリ)春去來者 199
 (サレ)暮去者 159
 夕去者 138
 (ユカ)似之不去者 207
 (ユキ)去過難寸 106
 去別南 155
 彼往此去 196
 (ユク)星離去 161
 去鳥乃 199
 去方乎不知 201
 晚去之如 207
 日之入去者 188
 過伊去等 207
 (ナ)栖立去者 182

(ニ)隱去之鹿齒 210

(ニシ)過去子等我 217

(ヌ)越野過去 195

乎知野爾過去 195

吟而散去流 121

(ヌル)落去奈倍爾 209

(去年)(コゾ)去年見而之 211
 214

又部

又(マタ)又將見香爾 146

及(シカ)追及武 185

友(トモ)背友乃國之 199

(助詞)浦者無友 151

(トモ)嘆友 117
 210

戀友 210

亂友 153

依目友 98

反(カヘリ)人者反而 148

取(トリ)取與

飛反來年 182
 反居者 187
 都良絃取波氣 210
 取而裏 199
 大刀取帶之 100
 取委物之 199
 弓取持之 215
 取持而 199
 取持流 199
 鯨魚取 138
 勇魚取 151
 弓波受乃驟 153
 過去計良受也 155
 不寐夜叙多 221
 宮道叙爲 199
 川藻毛叙 196
 玉藻毛叙 196
 好雲叙無 213
 今叙悔 219

口部

古

(イニシヘ)古爾

古所念

(フリ)古爾之鄉

(フリニ)古之

叫(叫吼)(ホユル)

虎可叫吼登

召(メス)

召賜良之

召賜萬旨

召言毛無

可

(カ)於可美爾

座爾之可婆

柰何可來計武

待爾可將待

何方爾所念食可

何方爾御念食可

不恰彌可念而寐良

武

何方爾念居可

飄可毛伊卷渡等

111
112

144

103

129

199

159

159

184

104

167

164

165

85

162

167

167

217

219

199

右

(左右)年替左右

野火登見左右

吉

(キ)波思吉香聞

令視倍吉君之

(ヨシ)吉咲八師

三吉野乃

朝毛吉

玉藻吉

(ヨケク)吉雲曾無寸

(ヨ)吉隱之

(エ)住吉乃

名(ナ)

名耳毛不絕

名耳聞而

名細之

妹之名喚而

妹之名者

君名者

吾名之惜毛

御名爾懸世流

御名忘世奴

御名不所忘

大名兒

狹名葛

名具鮫魚天

名積來之

名延之妹者

多田名附

本名言

久爾有名國

玉藻菊手名

君爾因奈名

向(ムカヒ)立向之毛

(ムカフ)肝向

立向

御食向

(ムキ)外向來

207

228

93

93

196

198

198

110

94

210

210

207

194

230

234

121

114

199

185

250

196

216

一云

君

穗向之

(荷向)ノサキ)荷向篋乃

(向南山)キタヤマ)

向南山

(ク)知跡言莫君二

(キミ)君之行

君之形見爾

君之御言乎

君名者

君戀君

朝嘆君

袖易之君

不相君故

君故爾

君座者

君不座十方

君之結有

君之見師髮

君之沾計武

如何君之獨越武

往來爲君之

114

100

161

97

85

255

115

93

150

150

150

195

194

200

174

172

146

124

108

106

196

吾

虎可叫吼登

(アガ、ワガ)吾大王

吾大王之

吾大王乃

吾王

吾王乃

吾黑髮爾

此吾心

吾里爾

標結吾勢

足痛吾勢

戀痛吾弟

吾勢枯乎

吾孀乃兒我

吾名之惜毛

吾日皇子乃

吾御門

吾髮結乃

吾屋乎見者

吾崗之

吾聞之耳爾

199

162

199

199

196

196

87

89

90

103

115

123

130

105

138

93

173

183

118

216

104

128

吾榜來者 220
 吾戀 207
 吾戀流妹 210
 吾戀君 150
 吾戀君會 150
 吾戀流其騰 112
 吾爲君毛 164
 吾立聞者 207
 吾引者 96
 吾袂振乎 154
 吾振袖乎 159
 吾待君者 224
 靡吾宿之 153
 二人吾宿之 210
 二吾宿之 213
 吾一人見之 210
 吾一見之 213
 弟世登吾將見 165
 (吾期)(ワゴ) 152
 吾期大王乃 152
 (吾妹)(ワギモ) 120
 吾妹兒爾 120

吾妹兒之 207
 吾妹子之 207
 吾妹子與 210
 (ワ、ア)吾孤悲念乎 102
 吾乎待跡 105
 (ワレ、アレ)吾此間有跡 226
 吾忘目八 110
 吾不戀有乎 140
 吾立所霑之 105
 吾立所沾 107
 吾許會益目 92
 吾爾語之 250
 令還吾會 127
 吾志悲毛 183
 吾者有家里 127
 吾者妹思 135
 吾者聞流乎 126
 吾者皆悉 195
 吾者毛也 95
 吾聞吾母 217
 念有吾毛 135
 人爾有吾哉 165

吾乎鴨 223
 吾乎還利 126
 (吾等)(ワガ)吾等哭淚 177
 (吾妻)(アツマ) 199
 吾妻乃國之 199
 告(ツグ) 109
 將告登波 109
 往而毛將告 220
 誰將告 226
 呂(ロ) 191
 毛許呂裳遠 191
 此年已呂乎 192
 玉藻之如許呂 196
 味(ミ) 162
 鹽氣能味 162
 (アヂ)味澤相 196
 (ウマ)味凝 162
 呼(チ) 155
 哭耳呼 155
 命 217
 (イノチ)長命乎 217
 (ミコト)神之命等 167
 孀乃命乃 194
 日女之命 167

和

皇子之命乃

167

(ワ)

和期大王 155
 和多豆乃 151
 和射見我原乃 199
 多和郎波乃如 129

咲

能咲八師 151
 吉咲八師 138

(エ)

哀(カナシミ) 120
 綾哀 159

哉

背賜哉 196
 忘賜哉 196
 大夫哉 117
 人爾有吾哉 165
 蓋哉鳴之 112
 泣乍在而哉 155
 公毛相哉登 194
 過卒登念哉 199

漢字索引

哭

(ネ)

哭耳呼 155
 (ナカ)泣耳師所哭 250
 (ナキ)哭澤之神社 202
 (ナク)吾等哭淚 177
 乞哭別 213

問

(モ)

乘爾家留香問 100
 (トハ)來毛問益乎 220
 (トヒ)問給麻思 159
 問賜良之 159
 (トヘ)何如問者 230
 (御問)(トハサ) 167
 御言不御問 167

喚

(メシ)

喚賜而 199
 (ヨビ)妹之名喚而 207

喧

(ナク)

喧鳥之 207

嘆

(ナゲク)

將嘆 158
 嘆鶴鴨 188

嘆毛

朝嘆君 150

臥居雖嘆 204

雖嘆 215

嘆友 117

口部

(四)(シ)

四賀乃幸崎 152
 山之四付二 107
 山之四附二 107

四我良美渡之 197

磐根四卷手 86

(四)(ヨモ)

四方之人乃 167
 四方(ヨモ) 86

回(ミ)

磯乃浦回乃 185
 角乃浦回乎 151
 道之阿回爾 115
 佐日之隅回乎 175

因

(ヨシ)

相因乎無見 210
 (ヨリ)君爾因奈名 114

國(クニ)

大島嶺 91
 大殿乎 199
 大鳥 210
 大名兒 213
 宇陀乃大野者 110
 越乃大野之 191
 大原乃 194
 大船之 103
 大船 109
 大舟之 122
 大宮人 167
 大山守 196
 大雪 105
 大御手爾 199
 大御船 151
 大御身爾 152
 大寸御門乎 199
 (大夫)(マストラヲ)大夫之 186
 大夫跡 118
 大夫哉 250
 (大刀)(タチ)大刀取帶之 117
 天(テ) 名具鮫魚天 199

(アメ)天下 162
 天地 167
 天之如 176
 天乎波 199
 天見如久 168
 天所知流 167
 (アマ)天河原爾 200
 天原 168
 天雲之 167
 天雲乎 205
 天照 167
 天離 227
 天傳 135
 天飛也 207
 天數 219
 天足有 147
 天津御門乎 199
 天領巾隱 210
 (アマツ)天水 215
 天宮爾 167
 (天皇)(スメロギ)天皇之 204
 太(タ) 佐太乃岡邊爾 177
 187
 192

己伎太雲 232
 己伎太久母 234
 道太爾不知 220
 戀乎太爾 129
 (フトキ)太心者 190
 (フト)太布座 167
 太布座而 167
 太敷座而 199
 夫(大夫)(マストラヲ)大夫 117
 失(ウス)明者失等言 118
 夷(ヒナ)夷之荒野爾 227
 奈(ナ) 念之奈要而 151
 死奈麻死物乎 86
 鹽滿來奈武 121
 何禮奈牟 194
 君爾因奈名 114
 (奈)ヲ次ニ便宜併セ載ス 194
 奈用竹乃 217
 奈積來之 213
 奈世流君香聞 222

落去奈倍爾

(奈何)(ナニ)

奈何可來計武 165
 座奉之 164
 裝束奉而 199

(奉仕)(マツロハ)不奉仕 199
 (ツカヘマツリ)奉仕之 176
 (ツカフル)御陵奉仕流 155
 奧(オキ)奧見者 220

奧放而 153
 奧津加伊 153
 奧津藻 155
 (オキツ)奧波 222
 162
 207

女部

女(メ) 日女之命 167
 奴(ヌ) 奴婆珠乃 89

濱而奴禮計禮 118
 多氣婆奴禮 123
 見管思奴幡武 233

漢字索引

(不)の(ヌ)

御名忘世奴 198
 知勝奴鴨 98
 (去)の(ヌ) 安定座奴 199
 神上上座奴 167
 高日所知奴 202
 里放來奴 138
 情違奴 176
 隱賜奴 205
 里者放奴 151
 氣長成奴 85
 氣長久成奴 90
 山毛越來奴 151
 目辭毛絕奴 196
 物念瘦奴 22
 通而沾奴 155

(ヌレ)の(ヌ)

佐麻欲比奴禮者 199
 入日刺奴禮 155
 好(ヨク)耳爾好似 128
 (ヨケク)好雲叙無 213

如(ゴト)如手童兒

多和郎波乃如 129
 天之如 129
 朝露乃如也 217
 夕霧乃如也 217
 雲隱如 207
 枝刺有如 213
 晚去之如 207
 川藻之如久 196
 茂之如久 210
 靡如久 199
 天見如久 168
 (ゴトク)茂如 213
 (如此)(カク)如此耳故爾 157
 如此許 129
 (此如)(カク)此如許 86
 (如是)(カク) 如是毛安良無登 199
 (如是有)(カカラム) 一云
 如是有乃 151
 (如何)(イカニカ) 如何君之 106

(ヨロシ)宜君之
室(ムロ)三室戶山 196
(ヤ)室上山 135
宮(ミヤ)清御原乃宮 162
島宮 170
淨之宮 171
木施之宮 172
香來山之宮 179
木上宮 199
朝宮乎 199
夕宮乎 196
常宮跡 196
常宮等 199
天宮爾 204
齊宮從 199
神宮爾 199
宮柱 167
皇子之宮人 167
大宮人 155
宮道叙爲 193
宮出毛爲鹿 175
(行宮)(カリミヤ)行宮爾 199

家(ケ)

乘爾家留香問 100
尙戀二家里 117
吾者有家里 127
彼所爾塵家武 104
(ガ)八多籠良家 193
(イヘ)家有猿尾 91
家居麻之乎 91
家有者 142
家跡住鳥毛 180
家來而 216
家知者 220
妹之家毛 91
我二人宿之 109
二人吾宿之 210
二吾宿之 213
靡吾宿之 133
依宿之妹乎 131
(ヌル)佐宿夜者 155
(子)旅宿鴨爲留 194
(ヌ)宿兄鳥之 196
(侍宿)(トノキ)侍宿爲鴨 174
侍宿爲爾往 179

寐(イネ)不寐夜叙多

(ネ)佐不寐者 94
靡寐之兒乎 135
於身副不寐者 194
身二副寐價牟 217
(ヌ)念而寐良武 217
實(ミ)實不成樹爾波 101
寸部
(キ)大寸御門乎 186
去過難寸 106
幾許貴寸 220
文爾乏寸 162
吉雲會無寸 210
多香根者長寸 125
和射見我原乃 206
志賀左射禮浪 199
迎加將行 85
迎乎將往 90
思將往 195
滿將行 220
待爾可將往 85

君乎者將待 87
後毛將相等 207
不欲常將言可聞 96
將言爲便 207
戀爾將沉 129
懸而將偲 199
見乍將偲 225
我戀將息 88
將告登波 109
往而毛將告 220
共將終登 176
妹乎將求 208
將榮等 183
千代爾將流 228
妹之門將見 131
妹之當將見 137
角里將見 138
後將見跡 146
弟世登吾將見 165
將見等念八方 198
明日谷將見等 198
片戀將爲跡 117

小

然之毛將有登 199
待乍將有 225
(メ)亦毛將相八方 195
(ケム)將結人者 143
復將見鴨 143
又將見香聞 146
(ナム)又將見鴨 185
誰將告 226
(ツラム)妹將見香 139
(ラム)待可將戀 152
開香將散 231
思萎而將嘆 138
(將見圓)(ミモロ) 94
將見圓山乃

小部

(小竹)(ササ)小竹之葉者 133
(小角)(クダ)小角乃音母 199
尙(ナホ)尙戀二家里 117
(スラ)柔膚尙乎 194

尸部

家母有猿尾 91
花爾有猿尾 120
居明而 89
臥居雖嘆 204
反居者 187
遺居而 115
放居而 150
離居而 150
群居乍 177
(チラ)家居麻之乎 91
(ナレ)念居可 217
(キ)雲居 136
吾屋乎見者 220
孀屋 216
屋上乃山 210
屋戶不借 215
相屋常念而 126
早敷屋師 135
早布屋師 194
縱畫屋師 138
131 196

履(フム)蔭履路乃

125

山部

山(ヤマ)山爾標結

154

山毛越來奴

151

山之四附二

107

山之四付二

107

山之黃葉乎

159

山多都禰

85

打歌山乃

139

敵傍乃山

207

鏡山爾

155

香來山之宮

199

神山之

157

鴨山之

225

高角山

132

高圓山

230

佐美乃山

221

羽易乃山

210

羽易山

213

引手乃山

212

引出山

215

二上山

165

不破山

199

御笠山

232

三笠山

234

三室戸山

94

將見圓山

94

室上山

155

屋上乃山

135

渡乃山

135

秋山

92

向南山

161

高山之

86

三山毛清爾

135

靡此山

151

其山乎

159

山清水

158

山道不知母

208

山路念邇

215

山徑往者

212

山邊眞蘇木綿

157

山科乃

156

大山守者

154

山多豆乃

90

山跡有

91

山振之

158

讚岐國者

220

嶮(ミネ)狹岑之島乃

220

岡(ヲカ)檀乃岡毛

174

猪養乃岡之

205

佐太乃岡邊爾

177

佐田乃岡邊爾

179

岳(ヲカ)神岳乃

159

岸(キシ)岸之松枝

143

島(シマ)島乎母

180

狹岑之島乃

220

大島嶺

228

島宮

170

島乃御門

171

島御門

172

島乎見時

189

島爾下座而

173

島者雖多

178

島之荒磯

220

巨(コ)有巨勢濃香毛

119

己部

己(コ)已知基督乃枝之

210

此年己呂乎

192

所己乎之毛

196

己伎太雲

252

己伎太久母

234

霧己曾婆

217

風己曾來依

138

露己曾婆

217

浪己曾來依

158

(オノガ)己母世爾

116

巾部

(領巾)(ヒレ)天領巾隱

210

市(イチ)輕市爾

207

布(フ)安良蘇布波之爾

199

夜鳴變布

192

賀欲布跡羽

148

志怒布良武

151

太布座

217

太布座而

167

早布屋師

196

早敷屋師

138

早布屋師

150

空蟬師

124

(シク)敷布爾

206

君之見師髮

196

早布屋師

167

太布座而

167

早布屋師

171

島宮

170

島乃御門

171

島御門

172

島乎見時

189

島爾下座而

173

島者雖多

178

島之荒磯

220

島御橋

187

崎(サキ)四賀乃幸崎

152

崗(ヲカ)吾爾之

104

眞弓乃崗

167

檀崗

182

嶺(ネ)大島嶺

91

川(カハ)明日香川

197

石川爾

225

朝川渡

116

川瀬道

218

川藻毛叙

196

川藻之如久

196

工部

左(サ)志賀左射禮浪

206

言左徹久

199

石根左久見手

210

左宿夜者

185

(左右)(マデ)年替左右

180

野火登見左右

230

在常不言爾
相屋常念而
幡(ハ) 安幡爾勿落
見管思奴幡武
(ハタ) 幡之靡者
199 253 203 194 166

女部

幾(イクダ)幾毛不有
(幾許)(ココダ)
幾多照而有
幾許貴寸
220 250 135

干部

干(ヒ) 鹽干勿有曾禰
(カルレ)干者波由流
年(ネ) 飛反來年
(トシ)年替左右
此年己呂乎
彌年放
益年離
(去年)(コン)去年見而之
幸(サキク)眞幸有者
214 211 192 180 182 196 229
141 214

(イデマシ)幸之
幸而
196 191

厂部

床(トコ)夜床母荒良無
玉床之
荒床
度(ワタル)度日乃
(ワタレ)雖度
座(マサ)君不座十方
(マシ)安定座奴
高知座而
太布座而
太敷座而
(マス)磐隱座
敷座國等
君座者
神西座者
灰而座者
(マシ)伊座世者
葬伊座而
(マシテ)太布座
167 199 173 215 205 174 167 199 199 167 167 199 172 214 207 220 216 194

(マス)妹者伊座等
(イマシ)座爾之可婆
上座奴
集座而
安母理座而
(イマス)妹座等
(イマセ)神等座者
(イマセ)神下座奉之
(キ) 島爾下座而
庭(ニハ)庭多泉
福路庭
妹庭雖有
妹庭雖在
廬(イホリ)廬作而見者
220 213 213 160 178 188 167 204 213 199 167 167 167 210
一云

互部

延(ヒキ)名延之妹者
(ハフ)延都多乃
廻(モトホリ)伊波比廻
199 155 207

弓部

弓(ユミ)弓取持之
199

梓弓

信濃乃眞弓
眞弓乃崗
(ユ) 弓波受乃驟
弓絃葉乃
引(ヒカ)不引爲而
引者隨意
吾引者
(ヒキ)引結
引放
梶引折而
(ヒク)引人者
知人會引
(ヒキ)引手乃山爾
引出山
引(テ) 朝日互流
朝立伊麻之互
弟(セ) 戀痛吾弟
(弟世)(イロセ)
弟世登吾將見
弦(弓弦)(ユツル)弓絃葉乃
(強) 強作留行事乎
165 210 177 215 212 99 99 220 199 141 96 98 97 111 199 167 96 98
97 99 207 217 250

彌(ミ) 不怜彌可
(イヤ)彌年放
彌遠長久
彌遠爾
151 196 211 217
138

三部

形(カタ)形見何此焉
形見爾置
形見爾置有
君之形見爾
影(カゲ)影爾所見乍
イ部
彼(カ) 彼往此去
彼依
彼依此依
彼緣此依
(ナチ)彼此之
彼方野邊爾
彼所(コ)彼所
往(ユカ)眞根久往者
思將往
196 207 104 110 220 131 138 194 196
149 253 213 210 196

(往來)(カヨハ)

迎乎將往
(ユキ)彼往此去
往而毛將告
(ユク)侍宿爲爾往
野邊往道者
山徑往者
往來爲君之
待(マタ)待爾可將待
君乎者將待
待爾者不待
(マチ)待爾可將待
待可將戀
待加戀良武
待乍將有
(マツ)妹待跡
吾乎待跡
吾待君者
待爾者不待
仰而待爾
後(ノチ)後毛將相等
後將見跡
145 207 167 90 224 108 107 223 220 152 85 90 87 85 195
89

徑

後心乎 98
落卷者後 103
99

(山徑)(ヤマヂ)山徑往者 212
徒(イタツラニ)徒開香將散 251

(エ) 佐母良比不得者 199

聞而有不得者 207
有不得者 207
背之不得者 210
背不得者 213

得難爾爲云 95

(得物矢)(サツヤ) 安見兒得有 95

從(ヨリ)從明日者 230

木際從 152
三井能上從 159

(ユ) 御念從者 92
木間從文 134

齊宮從 199
百濟之原從 199

御(ミ)

中之水門從 220
野邊從遊久道 224

御笠山 232
清御原 162

御門之原 160
御門之人 199

皇子之御門乎 199
皇子御門乎 199

天津御門乎 199
常都御門跡 174

大寸御門乎 186
多藝能御門爾 184

島乃御門爾 189
島御門者 175

吾御門 183
御在香乎 167

島御橋爾 187
御陵奉仕流 155

神之御子之 230
日之御子 162

神乃御面跡 220

御壽者 147
御言不御問 167

君之御言乎 113
御念從者 92

御名忘世奴 198
御名不所忘 198

御名爾懸世流 196
御食向 196

御軍士 199
大御手爾 199

大御身爾 199
大御船 151

(御立爲)(ミタタシ) 御立爲之 178
御立爲之 180

(御立)(ミタタシ)御立之 181
(御念)(オモホシ) 御念食可 167

(御問)(トハサ) 御言不御問 157

(御駕)(イデマシ)御駕之 230
復(マタ)復將見鴨 143

心部

心(ココロ)

心乎痛 135
心會痛 230

後心乎 98
太心者 190

忌(ユユシ)

此吾心 190
忌之伎鴨 199

忍(シノビ)

忍金手武 129
忍志布良武 131

志怒布良武 218
志我津之子我 218

志我津子等何 206
志賀佐射禮浪 206

忘

吾志悲毛 183
作良志之 199

由遊志計禮杼母 199
思志萎而 138

由遊志計禮杼母 199
作良志之 199

吾志悲毛 183

(ワスレ)吾忘目八

御名忘世奴 198
御名不忘奴 198

(所忘)(ワスラエ)

忘賜哉 196
不所忘鴨 149

怜

(不怜)(サブシ) 見者不怜毛 218
不怜彌可 217

念

(サビ)浦不怜晚之 215
(オモヒ)御念從者 92

勿念跡 140
念息登母 149

念之奈要而 131
念志萎而 196

念居可 217
物念瘦奴 122

念之時 196
念之時爾 210

念之妹之 210

念之妹我 213
宇都會臣等念之 210

念而有之 183
相屋常念而 194

念而寐良武 217
念乍 135

念乍有者 227
(オモフ)物乎會念 125

孀之念鳥 153
山路念邇 215

念麻低 199
吾孤悲念乎 102

(オモヘ)將見等念八方 198
過牟登念哉 199

念香毛 198
念有之 210

念有吾毛 213
(所念) 念有之 135

(オモホシ)所念之 196
所念食可 162

所念食而 199

(オモホエ)所念武鴨 191
 (オモホユ)古所念 144
 相日所念 209
 (所念有)(オモホセリ) 206
 所念有計類
 (御念)(オモホシ) 167
 御念食可
 怒(ヌ) 151
 志怒布良武
 思 (シ) 253
 見管思奴幡武
 波思吉香聞 115
 見卷苦流思母 229
 問給麻思 159
 繼而見麻思乎 91
 標結麻思乎 151
 能杼爾賀有萬思 197
 勤多扶倍思 128
 里爾思有者 207
 波之伎余思 131
 縱惠夜思 138
 (オモヒ)思將往 196

思志萎而 153
 思憑而 97
 長等思伎 167
 (オモヘ)不見思者 210
 (モフ)吾者妹思 155
 (モヘ)深目手思騰 135
 協(オビユ) 199
 協流麻低爾
 恐 (カシコキ)恐也 155
 (カシコク)聞之恐久 199
 (カシコミ)海乎恐 220
 文爾恐美 204
 (恐有)(カシコカレ) 199
 恐有騰文
 侍 (侍有)(タノメリ)侍有之 215
 息 (イキ)息衝明之 215
 (オキ)玉藻息津藻 131
 (ヤム)念息登母 149
 息時毛無 177

四〇
 (ヤマ)我戀將息 88
 (皆悉)(コトゴト) 193
 吾者皆悉
 悔(クヤシ) 217
 事悔敷乎
 今叙悔 219
 悵 (鬱悵)(オボホシク) 175
 鬱悵 189
 鬱悵久 220
 悲 (ヒ) 吾孤悲念乎 102
 (カナシ)吾志悲毛 183
 眞浦悲毛 189
 悶 (オモヒヤル) 196
 悶遣 207
 遣悶流
 情(ココロ) 144
 情毛不解 196
 情毛不在 196
 情違奴 176

情毛有八等 207
 妹情爾 100
 惑 (マドフ)見惑麻低爾 199
 聞惑麻低 199
 (マドハシ)伊吹惑之 199
 (迷惑)(マドフ) 201
 舍人者迷惑
 惜 (ヲシ)吾名之惜毛 98
 荒卷惜毛 168
 隱良久惜毛 169
 (ヲシケ)雖惜 135
 惠(エ) 202
 三輪須惠
 縱惠夜思 138
 意 (隨意)(マニマニ) 98
 引者隨意
 愛(ハシ) 220
 愛伎妻等者
 憐(カナシミ)

綾爾憐 196
 憑 (タノミ)思憑而 167
 (憑有)(タノメリ) 207
 憑有之
 憶(オモヒ) 199
 憶毛
 勸(ネモコロニ) 207
 勸欲見騰
 應 (ベ) 人應知見 207
 懸 (カケ)懸而將偲 199
 (カカ)御名爾懸世流 196
 懼(カシコク)懼母 199
 戀 (用言)(コヒ)吾不戀有牟 140
 尙戀二家里 117
 戀渡鴨 200
 戀痛吾弟 150
 人目爾戀而 170
 戀乍不有者 86
 120

四一
 戀管不有者 115
 戀管在爾 207
 尙戀二家里 117
 (コフ)古爾戀良武鳥者 112
 待加戀良武 220
 待可將戀 152
 (コフル)放居而吾戀君 150
 吾戀君會 150
 吾戀千重之一隔毛 207
 汝戀妹座等 213
 古爾戀流鳥鴨 111
 吾戀流其騰 112
 吾戀流妹者伊座等 210
 (コフレ)戀禮許會 118
 戀友相因乎無見 210
 雖戀相緣無 213
 (コヒ)(體) 88
 我戀將息 129
 戀乎大爾 102
 戀爾將沉 129
 誰戀爾有目 102
 片戀將爲跡 117

片戀嬌

196

戈部

成(ナラ)山之四附二成益物

乎

108

實不成樹爾波

101

不成樹別爾

101

不成有者

102

(ナリ)氣長久成奴

90

氣長成奴

85

數多成塗

167

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

我(ガ)

一云

(モリ)

冬木成

199

玉藻成

151

鳥翔成

145

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

(モリ)

一云

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

(モリ)

一云

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

(モリ)

一云

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

(所由)(ツレ)

187

所由無

187

(異所)(カタ)

114

異所縁

114

(所念)

191

(オモホサ)所念武鴨

191

(オモホシ)所念之

196

(オモホシ)所念食

199

(オモホシ)所念食而

199

(オモホシ)所念食可

162

(オモホセリ)所念有計類

206

(オモホユ)所念

144

古所念

144

相日所念

209

(所知)

171

(シラサ)國所知麻之

171

(シラシ)高日所知奴

202

(シラシ)天所知流

200

(所知食)(シラシメス)

167

所知食世者

167

戸部

三室戸山乃

94

屋戸不借

126

所

(ソ)所虛故

194

(彼所)(ソコ)彼所爾

104

戸部

三室戸山乃

94

屋戸不借

126

所

(ソ)所虛故

194

(彼所)(ソコ)彼所爾

104

片戀嬌

196

戈部

成(ナラ)山之四附二成益物

乎

108

實不成樹爾波

101

不成樹別爾

101

不成有者

102

(ナリ)氣長久成奴

90

氣長成奴

85

數多成塗

167

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

我(ガ)

一云

(モリ)

冬木成

199

玉藻成

151

鳥翔成

145

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

(モリ)

一云

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

(モリ)

一云

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

玉藻成

151

鳥翔成

145

冬木成

199

志我津子等何

218

志我津之子我

218

(モリ)

一云

(ナス)霞成

199

入日成

210

鶉成

199

鏡成

196

手部

(テ)手爾卷持而

150

手取持而

250

大御手爾

199

引手乃山

212

玉藻菊手名

121

忍金手武

129

磐根四卷手

86

深目手思騰

135

石根左久見手名積

210

來之

230

(タ)手火之光

210

玉手次

199

手枕纏而

217

妹之手本乎

151

如手童兒

129

得物矢手挿

250

手折目杼

166

(携手)(タツサハリ)携手吾二見之

215

打

(ウチ)打橋

196

打橋渡

196

(ウツ)打歌山乃

脅挿持 215
 持而加欲波久 113
 手爾卷持而 150
 取持而 210
 手取持而 230
 (持流)(モテル) 199
 取持流 199
 挂(カケマク) 199
 挂文 199
 指 (サシ)指上日女之命 167
 海邊乎指而 151
 (指擧)(サ、ゲ) 138
 指擧有 199
 振 (フリ)袖曾振鶴 207
 振放見者 147
 振放見乍 159
 (フル)朝羽振 199
 夕羽振 151
 我振袖乎 132
 吾振袖乎 139

吾袂振乎 134
 (フキ)山振之 153
 挾(ハサミ) 210
 腋挾持 210
 掃(ハラフ) 199
 掃部等 一云
 採(ツム) 221
 採而多宜麻之 221
 插 (ハサミ)脅挿持 215
 得物矢手插 230
 (插頭)(カサシ) 215
 花折插頭 196
 黃葉插頭 196
 擄(コギ) 196
 擄來船 220
 吾擄來者 153
 搔 (カキ)八重搔別而 167
 (足搔)(アガキ) 156
 足搔乎速 156
 (搔入)(ミダリ) 156

搔入津良武香 123
 摧(クダケ) 104
 雪之摧之 104
 携(タツザハリ) 215
 袖携 196
 携手 215
 擧 (指擧)(ササゲ) 199
 指擧有 199
 支部 199
 放(ハナチ)放鳥 170
 (ハナツ)引放 199
 (サケ)振放見乍 159
 振放見者 147
 奧放而 153
 (サカリ)里放來奴 138
 里者放奴 151
 放居而 150
 (サカル)彌年放 211
 故(ユエ)君故爾 200
 不相君故 154

人能兒故爾 122
 所虛故 194
 其故 167
 如此耳故爾 196
 敵(ヘ) 199
 言左敵久 157
 言佐敵久 135
 散(チリ)散之亂爾 135
 咲而散去流 120
 勿散亂會 137
 勿散爾 233
 (チル)開香將散 231
 (散動)(サワグ)白浪散動 220
 敷(シキ)敷座國等 167
 太敷座而 199
 敷妙乃 155
 敷妙之 220
 (シク)敷布爾 158
 (シカ)於保爾見敷者 219
 (シキ)早敷屋師 158
 事悔敷乎 217
 (シク)氣留敷藻 194
 敷(カゾフ)天敷 219

(數多)(マネク)數多成塗 167
 敵(アタ)敵見有 199
 文部 159
 文(モ) 134
 乾時文無 199
 木間從文 134
 挂文 199
 霜者零騰文 89
 恐有騰文 199
 (アヤ)文爾乏寸 162
 文爾恐美 204
 方部 167
 方(ヘ) 201
 行方不知毛 167
 去方乎不知 201
 (カタ)難波方 229
 彼方野邊爾 110
 何時邊乃方二 88
 (モ) 167
 四方之人乃 167
 亦毛將相八方 195
 將見等念八方 198
 有登不言八方 224

君不座十方 172
 (何方)(イカサマ)何方爾 162
 於(オ) 104
 於可美爾 104
 於會能風流士 126
 於保爾見敷者 219
 (ニ) 194
 於身副不寐者 166
 (ウヘ)磯之於爾 142
 旅宿鴨爲留 148
 旗(ハタ)青旗乃 148
 木旗能上乎 148
 日部 87
 日(ニ) 87
 霜乃置萬代日 188
 (ヒ) 199
 日之入去者 188
 日之目毛不令見 199
 日者雖照有 169
 日月之 167
 日月與共 220
 朝日互流 177
 旦日照 139

朝日照 192
 入日刺奴禮 135
 入日成 210
 高日所知奴 215
 度日乃晚去之如 202
 日之盡 207
 日月毛不知 105
 相日所念 155
 相日爾 199
 一日者 204
 日之皇子 210
 日之御子 186
 我日皇子乃 171
 吾日皇子乃 173
 佐日之隅回乎 175
 絕多日二 122
 足日木乃 107
 足日木能 108
 (日女)(ヒルメ)
 天照日女之命 167
 明日(アス) 159
 明日毛鴨

從明日者 165
 明日谷 198
 明日香能清御原 162
 明日香乃真神之原 199
 明日香乃河 194
 明日香乃河之 196
 明日香河 196
 明日香川 197
 今日(ケフ) 198
 今日毛鴨 159
 昨日毛今日毛 184
 且今日且今日 224
 昨日(キノフ) 184
 昨日毛今日毛 184
 且(タナ)且覆 138
 (アサ)且日照 139
 且露爾 194
 (アシタ)且者 213
 旨(シ) 召賜萬旨 159
 早(ハヤ)逝瀨之早見 119
 (ハ) 早敷屋師 138
 早布屋師 196

明(アケ)明來者 133
 (アカ)氣衝明之 210
 息衝明之 215
 (アカシ)居明而 89
 (アシタ)明者失等言 217
 (アサ)明言爾 167
 (明日)(アス)明日毛鴨 159
 從明日者 165
 明日谷 198
 明日香能 162
 明日香乃 199
 明日香乃河 194
 明日香河 196
 明日香川 197
 易(カヘ)袖易之君 195
 (カヒ)羽易乃山爾 210
 羽易山爾 213
 星(ホシ)星離去 161
 (タ星)(ユフツツ)夕星之 196
 春(ハル)春去來者 199
 春冬片設而 191
 春部者 196

昨

是

時

春野燒 230
 春野燒火乃 199
 春葉之 210
 春葉 215
 春花之 167
 春鳥之 199
 (昨日)(キノフ) 184
 昨日毛今日毛
 (如是)(カク) 199
 如是毛安良無登
 (如是有)(カカラム) 151
 如是有乃
 (トキ)時不在 217
 君與時時幸而 196
 脫時毛無 150
 息時毛無 177
 乾時文無 150
 御立爲之鳥乎見時 178
 木綿花之榮時爾 199
 漢字索引

相時

念之時 140
 念之時爾 196
 分之時爾 210
 時風 167
 天地之初時之 220
 (何時)(イツ) 140
 何時跡知而加 88
 何時邊乃方二 207
 晚(クレ)晚去之如 159
 (クラシ)裏佐備晚 210
 浦不樂晚之 213
 浦不恰晚之 215
 晝(ヒル)晝者母 155
 晝波毛 204
 晝羽裳 210
 夜晝登不云 193
 智(チ) 已智基智乃枝之 160
 暮(ユフ)暮去者 210
 (ユフベ)暮爾至者 121
 159

日部

於曾能風流士 126
 宇都會見乃 165
 宇都會臣 210
 曾知余里久禮婆 196
 吾已曾益目 210
 戀禮許曾 199
 風已曾來依 118
 浪已曾來依 92
 霧已曾婆 199
 露已曾婆 210
 勿散亂曾 153
 痛彌莫波曾 157
 痛勿波彌曾 217
 鹽干勿有曾禰 217
 神曾著常云 229
 知人曾引 153
 吾戀君曾 101
 吉雲曾無寸 99
 心曾痛 150
 手火之光曾 210
 四七

令還吾會 127
 物乎會念 125
 袖會振鶴 207
 伊久里爾會 135
 荒磯爾會 135
 止會金鶴 173
 (ニゾ)雲居會 136
 替(カハル)年替左右 180
 會 (渡會)(ワタラヒ)渡會乃 199

月部

月(ツキ)月牟離而 161
 日月之 167
 日日月與共 220
 日月毛不知 200
 照月乃 207
 夜渡月之 160
 渡相月之 135
 望月乃 167
 (三五月)(モチツキ) 三五月之 196

孀隱有 135
 (爾有) (ナラ)誰戀爾有目 102
 玉有者 150
 衣有者 150
 (ナリ)吾此間有跡 226
 (ナル)石見爾有角山 134
 人爾有吾哉 165
 上池有放鳥 172
 幸乃崎有 135
 山跡有 91
 (如是有)(カカラム) 如是有乃 151
 (然有)(シカレ)然有鴨 196
 (恐有)(カシコカレ) 恐有騰文 199
 (事痛有)(コチタカリ) 事痛有登母 115
 (照有)(テラセレ) 日者雖照有 169
 (立有)(タテル) 堤爾立有 210

(月夜)(ツクヨ)

秋乃月夜者 211
 秋月夜 214
 有 (アラ)妻毛有者 221
 眞幸有者 141
 然之毛將有登 199
 待乍將有 223
 能杼爾賀有萬思 197
 與杼爾加有益 197
 家母有猿尾 91
 伊勢能國爾母有益 163
 乎 花爾有猿尾 121
 幾毛不有 135
 戀乍不有者 86
 戀管不有者 120
 君毛不有國 115
 君毛不有爾 163
 吾爲君毛不有爾 164
 久爾有勿國 232
 久爾有名國 234

野中爾立有

(オケル)形見爾置有 144
 (マケル)磐根之卷有 223
 (オモホセリ)所念有計 213
 類 (サセル)枝刺有 206
 (オモヘリ)念有之妹 215
 (オモヘル)念有吾毛 210
 (ムスベル)君之結有 213
 (タノメリ)恃有之妹 213
 (タノメリ)憑有之兒 210
 (フレリ)大雪落有 103
 (不：有) (ザラ)吾不戀有 140
 不荒有益乎 175
 (ザリ)不生有之草 181
 (ザル)不成有者 102
 (而有)(タル) 幾許照而有 230
 (タリ)長久天足有 147
 亂有等母 124
 安見兒得有 95

(アリ)有登不言八方

有我欲比管 145
 聞而有不得者 207
 有不得者 207
 有巨勢濃香毛 207
 有勝麻之自 119
 情毛有八等 94
 鹽干勿有會禰 229
 吾者有家里 127
 念而有之吾 183
 有之香杼 190
 (アル)風流士者有 127
 著而有火之 199
 (アレ)念乍有者 227
 里爾思有者 207
 旅爾之有者 142
 家有者 142
 君名者雖有 93
 妹者雖有 210
 妹庭雖有 215
 兒等爾雖有 210

(タル)指舉有

繁荒有可 199
 敵見有 252
 望(モチ)望月乃 167
 朝(アサ)朝嘆君 150
 朝立伊麻之互 210
 朝立伊行而 213
 朝霞 88
 朝露 116
 朝川渡 199
 朝霜之 196
 朝露乃如也 217
 朝鳥 196
 朝日互流 177
 朝日照 192
 朝羽振 131
 朝宮乎 196
 朝毛吉 199
 (アシタ)朝爾置而 217
 期(ゴ) 和期大王 155
 吾期大王乃 152
 虛知期知爾 215

木部

木(モ) 木丘開道乎 185
 (キ) 槻木之 210
 百兄槻木 215
 眞木立 199
 眞木柱 190
 木廳之宮乎 199
 木上宮乎 199
 足日木乃 107
 足日木能 108
 (コ) 木際從 152
 木間從文 154
 妹木枕 216
 冬木成 199
 木旗能上乎 148
 (木綿)(ユフ) 山邊眞蘇木綿 157
 短木綿 157
 木綿花乃 199
 (馬醉木)(アシビ) 馬醉木乎 166

未(マダ・ヌ)未渡

未過爾 116
 (イマダ・ネ)未盡者 199
 末(ウレ)子松之末爾 228
 (若末)(ウレ)葦若未乃 128
 本(モト)妹之手本乎 151
 本名言 一云 158
 束(ツカ)束間毛 250
 (裝束)(ヨソヒ)裝束奉而 110
 東(アヅマ)東人乃 100
 (ヒムガシ)東乃 184
 杼(ド)能杼爾賀有萬思 197
 與杼爾加有益 一云 197
 二人行杼 106
 手折目杼 166
 有之香杼 190
 由遊志計禮杼母 199
 見良目杼母 一云 145
 松(マツ)松者知良武 145
 岸之松枝 143
 結松 144
 濱松之枝乎 141

枕(マクラ)枕爾爲而

玉松之枝者 113
 子松之宇禮乎 146
 子松之末爾 228
 (海松)(ミル)深海松生流 155
 深海松乃 155
 枕(マクラ)枕爾爲而 220
 枕爾置 226
 枕等卷而 222
 枕付 210
 枕附 215
 妹木枕 216
 手枕纏而 217
 草枕 142
 林(ハヤシ)冬乃林爾 199
 枝(エ)岸之松枝 145
 玉松之枝者 113
 濱松之枝乎 141
 已智碁智乃枝之 210
 (エダ)枝刺有如 215
 枯(コ)吾勢枯乎 105
 柄(カラ)神柄加 220
 國柄加 220

染(シミ)益目類染 196
 柔(ニギ)柔膚尙乎 194
 柔田津乃 138
 柱(ハシラ)眞木柱 190
 宮柱 167
 栖(ス)栖立去者 182
 榜(タク)榜繼之 217
 (タヘ)白榜 213
 布榜乃 217
 赤根刺 199
 磐根四卷手 86
 磐根之卷有 223
 石根左久見呼 210
 石根割見而 213
 狹根葛 207
 眞根久往者 207
 多香根者長寸 125
 梓(ホコ)玉梓之 220
 玉梓 207
 梓(アヅサ)梓弓 98
 (玉梓)(タマヅサ)玉梓之 99
 梶(カヂ)梶引折而 220

椎(シヒ)椎之葉爾盛 142
 極(キハミ)依相之極 167
 榜(コギ)榜來船 155
 榮(サカエ)將榮等 183
 (サカユル)榮時爾 199
 槻(ツキ)槻木之 210
 百兄槻木 213
 樂(ササ)樂浪之 218
 (神樂)(ササ)神樂浪乃 154
 神樂波之 206
 (不樂)(サビ)浦不樂晚之 210
 標(シメ)標結吾勢 115
 標結麻思乎 151
 山爾標結 154
 樹(キ)實不成樹爾波 101
 不成樹別爾 101
 (コ)樹下隱 92
 橋(ハシ)石橋渡 196
 石橋 196
 打橋渡 196
 打橋 196
 島御橋爾 187

橘(タチバナ)橘之

檀(マユミ)檀乃岡毛 125
 檀崗爾 174
 檀崗爾 182

次(ツギテ)次來

(スキ)玉手次 199
 欲(ヨ)持而加欲波久 220
 有我欲比管 113
 賀欲布跡羽 145
 佐麻欲比奴禮者 148
 (ホリ)欲見 199
 (ホシケ)欲見騰 164
 (不欲)(イナ)不欲常將言可聞 207

歌(ウツタ)山乃

打歌(ウツタ)山乃 139
 歎(ナゲキ)歎管 118

止部

止(ヤマ)不出見之 207

不止行者
(トメ)止會金鶴
此(コノ)此道乃

靡此山
此吾心

(カク)彼緣此依
此年已呂乎

彼依此依
此依

(ココ)形見何此焉
(コチ)彼此之

(此開)(ココ)吾此間有跡
(如此)(カク)如此許

如此耳故爾
滿波之計武跡

追及武
見管思奴幡武

世武爲便不知爾
繼而毛見武爾

殿(トノ)大殿乎

母部

安母理座而
佐母良比不得者

家母有猿尾
進留水母

由緣母無
夜床母荒良無

小角乃音母
音母不所聞

音聞吾母
島乎母

伊勢能國爾母
音耳母

已仗太久母
懼母

言久母
書者母

島宮婆母
山道不知母

見卷苦流思母

事痛有登母
亂有等母
念息登母
見良目杼母
由遊志計禮杼母
(?)己母世爾
每(ゴトニ)八十隈每

比部

安騰毛比賜
伊波比伏管
伊波比廻

有我欲比管
隱比來者

佐麻欲比奴禮者
佐母良比不得者

(比來)(コノゴロ)
比來不見爾

毛部

漢字索引

歹部

死(シ)死奈麻死物乎

段(タビ)萬段

歸(ユク)歸邊不知爾爲

妹見都良武香
搔入津良武香

念而寢良武
松者知良武

志怒布良武
待加戀良武

戀良武鳥者
獨越武

思金手武
鹽滿來奈武

奈何可來計武
君之沾計武

彼所爾塵家武
所念武鴨

亦還見武
亦還見武

吾爲君毛不有二
情毛不在

情毛有八等
妻毛有者

生跡毛無
生刀毛無

脫時毛無
召言毛無

息時毛無
道行人毛

憶毛未盡者
嘆毛未過爾

情毛不解
奧津藻毛

大夫跡念有吾毛
家跡住鳥毛

入音毛不爲者
檀乃岡毛

毛(モ)

(助詞)君毛不有國

君毛不有爾

公毛相哉登

吾爲君毛不有二

情毛不在

情毛有八等

妻毛有者

生跡毛無

生刀毛無

脫時毛無

召言毛無

息時毛無

道行人毛

憶毛未盡者

嘆毛未過爾

情毛不解

奧津藻毛

大夫跡念有吾毛

家跡住鳥毛

入音毛不爲者

檀乃岡毛

御門之人毛

目辭毛絕奴

三山毛清爾

妹之家毛

千重之一隔毛遺悶

流

日月毛不知

日之目毛不令見

宮出毛爲鹿

山毛越來奴

昨日毛今日毛召言

毛無

後毛將相等

束間毛

須臾毛

幾毛不有

亦毛將相八方

如是毛安良無登

清爾毛不見

立向之毛

來毛問益乎

繼而毛見武爾

往而毛將告 220
 荷之緒爾毛 100
 名耳毛不絕 196
 晝波毛日之盡 204
 夜者毛 155
 夜羽毛夜之盡 204
 川藻毛叙干者波由 196
 流 196
 玉藻毛叙絕者生流 196
 今日毛鴨 159
 明日毛鴨 199
 聽可毛 199
 念香毛 199
 何然毛吾王乃 196
 吾者毛也 95
 然之毛將有登 199
 所已乎之毛 196
 吾志悲毛 183
 眞浦悲毛 189
 見者不恰毛 218
 荒卷惜毛 168
 隱良久惜毛 169

氣部

吾名之惜毛 93
 行方不知毛 167
 鎮目金津毛 190
 有巨勢濃香毛 119
 安騰毛比賜 199
 朝毛吉 199
 毛許呂裳遠 191
 (ケ) 氣長成奴 85
 氣長久成奴 90
 鹽氣能味 162
 多氣婆奴禮 123
 都良絃取波氣 99
 氣留敷藻 194
 (イキ) 氣衝明之 210
 水部
 (ミヅ) 水乃 197
 逝水 92

進留水母 185
 水傳 167
 天水 167
 水穗之國乎 199
 水薦刈 96
 (ミ) 水薦刈 158
 (カハ) 石水 224
 (清水) (シミツ) 山清水 158
 (水門) (ミナト) 220
 中乃水門從 220
 求 (モトメ) 妹乎將求 208
 汝 (ナガ) 汝戀 213
 池 (イケ) 池爾不潛 176
 勾乃池之 170
 上池有 172
 埴安乃池之 201
 沈 (シヅマ) 戀爾將沈 129
 (シヅミ) 沈之 229
 河 (カハ) 明日香乃河之 194
 明日香河 196
 丹生乃河 130
 芳野河 119
 (河原) (カハラ) 天河原爾 167

治 (チサメ) 治賜

國乎治跡 199
 沼 (ヌ) 隱沼乃 201
 沾 (ヌレ) 君之沾計武 108
 通而沾奴 135
 衣者沾而 194
 (所沾) (ヌレ) 吾立所沾 107

泉

(ニハタツミ) 庭多泉 173
 泊 (ハテ) 泊之登萬里人 151
 (ハツ) 泊流登麻里能 122
 波 (ハ) 多和郎波乃如 129
 弓波受乃驟 199
 野上乃宇波疑 221
 難波方 229
 安良蘇布波之爾 199
 波思吉香聞 113
 波之伎余思 151
 滿波之計武跡 167
 伊波比廻 199
 持而加欲波久 113
 都良絃取波氣 99

泣 (ネ)

痛勿波禰會 153
 痛莫波禰會 153
 干者波由流 196
 日之皇子波 167
 笛乃音波 199
 天乎波 167
 實不成樹爾波 101
 將告登波 109
 今波長跡 124
 書波毛 204
 (ナミ) 靡足波爾 162
 神樂波之 206
 奧波 222
 泣 (ネ) 泣耳師所哭 230
 (ナキ) 泣乍在而哉 155
 (ナク) 乞泣每 210
 泣淚 230
 津守之占爾 109
 津乃浦乎無美 158
 柔田津乃 158
 志我津子等何 218
 志我津之子我 218

流 (ル)

凡津子之 219
 搔入津良武香 125
 鎮目金津毛 190
 天津御門 199
 息津藻 131
 奧津藻 162
 奧津加伊 153
 邊津加伊 153
 見卷苦流思母 229
 朝日互流 177
 遣悶流 196
 玉藻者生流 135
 深海松生流 135
 生流馬醉木乎 166
 絕者生流 196
 戀流鳥鴨 111
 吾戀流其騰 112
 吾戀流 210
 干者波由流 196
 泊流登麻里能 122
 齊流 199
 協流麻低爾 199

御陵奉仕流 155
 燎流荒野爾 210
 吾者聞流乎 215
 御名爾懸世流 196
 吹響流 126
 奈世流君香聞 199
 取持流 222
 迷流 199
 香乎禮流圖爾 208
 生乎爲禮流 162
 咲而散去流 195
 天所知流 120
 (ナガレ)千代爾將流 200
 流觸經 228
 (ナガルル)流淚 194
 (風流士)(ミヤビチ) 178
 風流士 223
 浦(ウラ)浦無等 126
 浦無跡 127
 浦者無友 131
 浦者雖無 158
 淺香乃浦爾 121

磯乃浦回乃 185
 津乃浦乎無美 158
 角乃浦回乎 151
 浦不樂晚之 210
 浦不恰晚之 215
 眞浦悲毛 189
 浪之共 131
 浪社來緣 138
 浪已曾來依 151
 浪音乃 138
 荒浪爾 220
 白浪散動 226
 志賀左射禮浪 220
 跡泣浪立 206
 神樂浪乃 154
 樂浪之 218
 石浪 196
 浮(ウケ)船浮而 220
 海(ウミ)海乎恐 220
 海邊乎指而 131
 淡海之海乎 155
 (ミ)石見乃海 138

石見之海 135
 (淡海)(アフミ)淡海乃海 155
 乎
 (海松)(ミル)深海松生流 155
 消(ケナ)消者消倍久 199
 消者消言爾 199
 (ケヌ)消者消倍久 199
 消者消言爾 199
 (キユ)消等言 217
 淚(ナミダ)吾等哭淚 177
 流淚 178
 泣淚 230
 淡 230
 (淡海)(アフミ)乃海乎 153
 淨(キヨミ)淨之宮爾 167
 深(フカ)深目手思騰 135
 深海松乃 135
 深海松生流 135
 (フケ)佐夜深而 105
 淵(フチ)磐垣淵之 207
 清(キヨ)清御原乃 162

(サヤ)三山毛清爾 155
 清爾毛不見 135
 (清水)(シミヅ)山清水 158
 淺(アサ)淺香乃浦 121
 渡(ワタリ)渡乃 116
 (ワタラ)未渡 116
 瀨者不渡而 130
 (ワタリ)鳴渡遊久 111
 (ワタル)朝川渡 116
 伊卷渡等 199
 夜渡月之 169
 戀渡鴨 200
 (ワタ)雲立渡禮 225
 四我良美渡之 197
 (ワタス)石橋渡 196
 打橋渡 196
 (渡相)(ワタラフ) 135
 渡相月乃 199
 (渡會)(ワタラヒ)渡會乃 199
 瀨無等 151
 瀨無跡 138
 瀨者無鞞 151

瀨者雖無 158
 滿(ミチ)滿滿來奈武 121
 (タリ)滿將行 220
 (タタハ)滿波之計武跡 167
 漬(ヒヂ)漬而奴禮計禮 118
 (濕漬)(ヒツチ)衣溼漬而 250
 潜(カツカ)池爾不潜 170
 澄(ト)入澄不言八 160
 澤(サハ)哭澤之神社 202
 味澤相 196
 濃(ヌ)信濃乃 96
 有巨勢濃香毛 97
 濟 119
 (百濟)(クダラ) 199
 百濟之原從 141
 濱(ハマ)濱松之枝乎 220
 茂濱邊乎 150
 瀨者不渡而 218
 川瀨道 119
 逝瀨之早見 194
 上瀨 196
 下瀨 196

火部

火(ヒ) 燃火物 160
 著而有火之 199
 春野燒火乃 199
 燎火乎 230
 野火登見左右 250
 手火之光會 230
 畝火乃山 207
 蜻火之 210
 香切火之 215
 灰(ハヒ)灰而座者 215
 烏 215
 (烏玉)(ヌハタマ)烏玉之 169
 烏玉乃 194
 烏玉能 199
 形見何此焉 196
 無 187
 (ム)誰加住舞無 187
 夜床母荒良無 194
 如是毛安良無登 199
 (ナク)浦者無友 151

浦者雖無 158
 浦者無輒 151
 浦者雖無 158
 不通事無 119
 脫時毛無 150
 (ナシ) 乾時文無 159
 息時毛無 177
 召言毛無 184
 生跡毛無 212
 生刀毛無 215
 磯無登 227
 浦無等 151
 浦無跡 158
 浦無跡 151
 浦無跡 158
 浦無跡 151
 見人無爾 251
 相緣無 215
 (ナキ) 由緣母無 167
 所由無 187
 好雲叙無 215
 (ナケレ) 物之無者 210
 無者 215

瓜部

爲(タメ)爲誰可 154
 (ナシ) 枕爾爲而 220
 (ナラ) 塞爲卷爾 205
 (セ) 人音毛不爲者 180
 片戀將爲跡 117
 不引爲而 97
 姬爾爲而也 129
 爲乍 196
 侍宿爲爾往 179
 侍宿爲爾往 196
 得難爾爲云 95
 歸邊不知爾爲 167
 旅宿鴨爲留 194
 (スル) 吾爲君毛 164
 侍宿爲鴨 174
 宮出毛爲鹿 175
 宮道叙爲 195
 (スレ) 顧爲騰 131
 顧雖爲 135
 (セ) 人乎和爲跡 199
 (シ) 益爲爾知而 109

御立爲之 178
 往來爲君之 180
 所聞見爲 181
 (爲便) (スベ) 199
 爲便知之也 196
 將言爲便 207
 爲便乎無見 207
 世武爲便不知爾 207
 (セムスベ) 爲便不知 215
 (ヲ) 生乎爲禮流 196

爻部

爾(ニ) (格助詞) 165
 伊勢能國爾母 165
 敵火乃山爾喧鳥 207
 引手乃山爾 212
 羽易乃山爾 210
 羽易山爾 213
 鏡山爾 155
 高圓山爾 250
 大島嶺爾 89
 漢字索引 91

(ナ) 吉雲會無寸 210
 津乃浦乎無美 153
 爲便乎無見 207
 相因乎無見 210
 然(シカ) 然之毛將有登 199
 何然毛 196
 (シカレ) 雖然 199
 (然有) (シカレ) 然有鴨 196
 照(テリ) 幾許照而有 230
 (テル) 且日照 189
 朝日照 192
 照月乃 207
 (テラス) 高照 162
 天照日女之命 167
 (テラセ) 雖照 211
 日者雖照有 169
 燃(モユル) 燃火物 210
 燎(モユル) 燎流荒野爾 215
 (モユル) 燎火乎 230
 燒(ヤク) 春野燒 230
 春野燒火乃 199

彼方野邊爾 110
 荒磯爾曾玉藻者生 155
 流 220
 荒磯面爾 167
 天河原爾 199
 御門之原爾 109
 冬乃林爾 199
 吾里爾 105
 古爾之鄉爾 103
 天宮爾 204
 堤爾立有 210
 島乃御門爾 189
 多藝乃御門爾雖伺 210
 侍 184
 島御橋爾誰加住舞 187
 無 213
 孀屋之內爾 210
 孀屋內爾 213
 荒磯乃上爾 151
 磯之於爾生流 158
 穗上爾霜相 166
 野中爾立有 88

天雲之五百重之下
爾隱賜奴
道之阿回爾
子松之末爾羅生萬
代爾
伊久里爾曾深海松
生流
實不成樹爾波
不成樹別爾
枕爾置
哭澤之神社爾三輪
須惠
上瀨爾生玉藻
下瀨爾流觸經
行宮爾安母理座而
池爾不潛
虛知期知爾枝刺有
如
彼所爾塵家武
人目爾戀而
神分分之時爾
打蟬等念之時爾

210 167 170 104 213 170 199 194 194 202 226 101 100 135 228 115 205

榮時爾
古爾戀流鳥鴨
古爾戀良武鳥
萬代爾國所知麻之
萬代爾過牟登念哉
千代爾將流
已母世爾
明言爾御言不御問
朝爾置而
暮爾至者
相競端爾
安良蘇布波之爾
吾爾語久
御名爾懸世流
聲爾聞而
吾黑髮爾霜乃置萬
代日
吾黑髮爾霜者零騰
文
大御身爾大刀取帶
之
手爾卷持而

199 112 111 199 171 199 116 228 167 217 199 199 199 230 199 207 196 230 199 87 89 150 199

大御手爾弓取持之
神風爾
妹爾不相言而
於可美爾言而
津守之占爾
荷之緒爾毛
靡足波爾
妹情爾乘爾家留香
問
貝爾交而
荒浪爾
箭爾盛飯乎
稚之葉爾盛
君爾因奈名
吾妹兒爾戀乍不有
者
夕霧爾衣者沾而
且露爾玉藻者溼打
鷄鳴露爾
神爾不勝者
耳爾好似
君之形見爾見管

199 125 199 104 109 100 162 100 224 224 100 120 194 194 105 105 128 253

目爾者雖視
夢爾谷
枕爾爲而
媼爾爲而也
遊士爾吾者有家里
遊士爾
旅爾之有者
里爾思有者
兒等爾者雖有
何方爾所念食可
何方爾念居可
影爾所見乍
綾爾畏仗
文爾乏寸
馬疲爾
文爾恐美
形見爾置
形見爾置有
神宮爾裝束奉而
戀爾將沉
常闇覆賜而
千代常登婆爾將榮

48 175 220 129 127 129 142 207 210 162 217 149 199 162 164 204 210 213 199 129 199 199 199

等
露爾落者
八衢爾物乎曾思
外爾見之
酌爾雖行
侍宿爲爾往
落去奈倍爾
君故爾
人能兒故爾
得難爾爲云
散之亂爾
益爲爾知而
待爾可將待
待爾者不待
安幡爾勿落
於保爾見敷者
綾爾憐
直爾不相香裳
佐不寐者遂爾
能杼爾賀有萬思
與杼爾加有益
三山毛清爾亂友

185 230 125 174 158 179 209 200 122 95 135 109 85 90 203 219 196 148 94 197 197 133

清爾毛不見
敷布爾
益高爾山毛越來奴
益高爾
彌遠爾里者放奴
彌遠爾里放來奴
何方爾
如此耳故爾
仰而待爾
消者消言爾
雲居爾吹爾
戀管在爾
繼而毛見武爾
嘆毛未過爾
比來不見爾
見人無爾
塞爲卷爾
久爾有勿國
久爾有名國
君毛不有爾
在常不言爾
協流麻低爾

185 206 151 158 151 158 162 167 157 167 199 220 207 91 199 125 251 203 252 254 165 164 199

見惑麻低爾 199 一云
蘿生萬代爾 228

(爾有)

(ナラ)誰戀爾有目 102

花爾有猿尾 120

(ナル)石見爾有 134

人爾有吾哉 165

ダニ(太爾)

道太爾不知 220

戀乎太爾忍金手武 129 一云

(複語尾)(ニ)(打消)

世武爲便不知爾 107 一云

歸邊不知爾爲 167 一云

(ニ)(ヌ)の連用形)

古爾之鄉爾 103

座爾之可婆 167 一云

乘爾家留香問 100

荒爾計類鴨 234

生爾來鴨 181

片部

片(カタ)片戀將爲跡 117

片戀婦 196
片設而 191

牛部

牟(モ) 月牟離而 161

(ム) 吾不戀有牟 140

何禮奈牟 194 一云

過去登念哉 199

身二副寐價牟 217

物(モ) 燃火物 160

(モノ)物乎會念 125

物念瘦奴 122

物之無者 210

取委物之 213

鹿自物 199

鳥穗自物 210

鳥自物 210 213

男自物 213

死奈麻死物乎 86

成益物乎 103

不見在之物乎 175

(得物矢)(サツヤ)

得物矢手挿 230

犬部

狛(コマ)狛劍 199

狹(サ)狹名葛 94

狹根葛 207

狹岑之鳥乃 220

獸(アカ)雖見不獸 196

猶 (猶預不定)(タユタフ)

猶預見不定者 196

猪(キ)猪養乃岡 203

猿(マシ)家母有猿尾 91

花爾有猿尾 120

獨(ヒトリ)獨越武 106

獨谷似之不去者 207

玉部

王(オホキミ)王者 205

吾王 167

我王者 196 198 204

(大王)(オホキミ)大王乃 147

吾大王 162

吾大王之 199 199

吾大王乃 199

我大王之 159

和期大王之 155

吾期大王乃 152

玉(タマ)玉有者 150

緣來玉乎 226

玉蜻 207

玉葛 101 102

玉繻 149

玉匣 93 94 94 或本

玉手次 199 207

玉垂乃 194

玉垂之 195

玉梓之 207 209

玉床之 216

玉梓 207

玉梓之 220

玉松之枝者 115

玉藻息都藻 131 138

莫字索引

玉藻刈手名 121

玉藻毛叙 196

玉藻者生流 155

生玉藻者 194

玉藻者渥打 194

玉藻成 131 135 133 194

玉藻之如許呂 196

玉藻吉 220

(鳥玉)(ヌバタマ)鳥玉乃 194

烏玉能 199

烏玉之 169

珠(タマ)珠蜻 210

奴婆珠乃 89

理(リ)安母理座而 199

瓦部

臨(ヘ)木臨之宮乎 196

生部

生(ナル)香青生 151

蚊青生 138

(オヒ)不生有之草 181

生乎爲禮流 205

生靡留 167

生爾來鴨 196

(オフ)玉藻者生流 181

深海松生流 135

絕者生流 135

生流馬碎木乎 166

(オフル)生玉藻乎 194

(ムス)蘿生萬代爾 228

(フ)丹生乃河 130

(イクル)生跡毛無 212

生刀毛無 215 227

用部

用(ユ)奈用竹乃 217

田部

田(タ)秋之田 88

秋田之 114

佐田乃岡邊 179

柔田津乃 158

多田名附 194

由(ユ) 由遊志計禮杼母 199 一云

干者波由流

由久遊久登

(由緣)(ツレ)由緣母無

(所由)(ツレ)所由無

申(マナシ)申賜者

男 (ヲノコ)男自物

畏(カシコ)綾爾畏伎

異 (異所)(カタ)異所緣

畝(ウネ)畝火乃山

留(ル) 下部留妹

旅宿鴨爲留

強作留行事乎

進留水母

生塵留

乘爾家流香問

隱來計留

(トマリ)立留

氣留(田)敷藻

畫(エ) 縱畫屋師

當(アタリ)妹之當

妹之當乎

當者隱來計留

疋部

疑(ギ) 神之神須疑

野上乃宇波疑

疒部

疲(ツカラシ)馬疲爾

痛(イタク)痛勿波爾會

痛莫波爾會

(イタキ)心會痛

(イタミ)心乎痛

(足痛)(アシヒク)

足痛吾勢

(タキ)戀痛吾弟

(タ)繁美許知痛美

(事痛有)(コチタカリ)

事痛有登母

痺(ヤセ)物念瘦奴

火部

登(ト) 泊流登麻里能

泊之登萬里人

千代常登婆爾

弟世登吾將見

野火登見左右

聲登聞麻低

夜晝登不去

磯無登

倭邊遣登

有登不言八方

虎可叫吼登

多計登雖言

所知食登

將告登波

共將終登

過牟登念哉

然之毛將有登

如是毛安良無登

公毛相哉登

由久遊久登

事痛有登母

念息登母

(ノボリ)神登座爾之可婆一云

白部

白(シロ)白妙乃

白妙

白栲

磬白乃

(シラ)白浪散動

道之白鳴

百(モモ)百磯城乃

百兄槻木

(ホ)

八百萬

(百濟)(クダラ)

百濟之原從

皆(ミナ)皆人

(皆悉)(コトゴト)

吾者皆悉

皇

(天皇)(スメロギ)天皇之

(皇子)(ミコ)皇子乃

皇子之命乃

皇子隨

日之皇子

日之皇子波

我日皇子乃

吾日皇子乃

皇子之宮人

皇子之御門乎

皇子御門乎

皿部

益(マサ)吾許會益目

益爲爾知而

(マシ)來毛問益乎

成益物乎

有益乎

不荒有益乎

與杼爾加有益

(マス)鬼乃益卜雄

(マセ)塞益者

(イヤ)益目頗染

益年離

益高爾

盛(モル)筭爾盛飯乎

椎之葉爾盛

盡(ツキ)未盡者

(コトゴト)日之盡

夜之盡

監 (ケム)妹見監鴨

目部

目(メ) 目爾者雖視

人目乎多見

人目爾戀而

日之目毛不令見

目辭毛絕奴

益目頗染

深目手思騰

鎮目金津毛

吾許會益目

手折目杼

依目友 98
 吾忘目八 110
 誰戀爾有目 102
 人社見良目 131
 見良目杼母 131
 直(タダ)直爾不相香裳 148
 (タタニ)直相者 225
 相(アヒ)(體)依相之極 167
 (用)(アハ)直相者 225
 妹爾不相而 125
 直爾不相香裳 148
 不相君故 194
 後毛將相等 207
 亦毛將相八方 195
 (アハム)相時 140
 (アヒ)相不勝 225
 相見之妹者 211
 (アヒシ)相日所思 214
 相日 219
 (アフ)相屋常念而 194
 公毛相哉登 194
 相因乎無見 210

矢部

相緣無 215
 (相競)(アラソフ) 199
 相競端爾 88
 (霧相)(キラフ) 194
 穗上爾霧相朝霞 196
 (靡相)(ナビカヒ)靡相之 194
 (渡相)(ワタラフ) 155
 渡相月乃 196
 (味澤相)(アチサハフ) 196
 味澤相 141
 眞(マ) 眞幸有者 199
 眞木立 190
 眞木柱 189
 眞神之原 167
 山邊眞蘇木綿 96
 信濃乃眞弓 157
 眞弓乃崗 199
 眞浦悲毛 207
 字眞人佐備而 96
 眞根久往者 189

矢(得物矢)(サツヤ) 250
 得物矢手挿 156
 知(チ) 乎知野爾過奴 195
 繁美許知痛美 116
 已知碁智乃枝之 210
 虛知期知爾 215
 曾知余里久禮婆 199
 (シラ)家知者 220
 妻知者 220
 歸邊不知爾爲 207
 世武爲便不知爾 210
 爲便不知 215
 不知等妹之 225
 日月毛不知 200
 去方乎不知 201
 道太爾不知 220
 行方不知毛 167
 山道不知母 208
 人社不知 145
 (シラマ)爲便知之也 196
 (シリ)高知座而 167

豫知勢 151
 知勝奴鴨 98
 益爲爾知而 109
 何時跡知而加 140
 人應知見 207
 (シル)知跡言莫君二 97
 松者知良武 145
 知人會引 99
 (所知) 171
 (シラサ)國所知麻之 171
 (シラシ)高日所知奴 202
 (シラシヌ)天所知流 200
 (シラシ)所知食之 162
 所知食登 167
 所知食世者 167
 所知行 167
 (知之)(シシ)八隅知之 152
 安見知之 204
 短(ミジカ)短木綿 157
 石(イシ)石川爾 225

石部

石水 224
 石浪 196
 石橋渡 196
 石橋 196
 (イハ)石根左久見乎 210
 石根割見而 210
 石乍自 185
 石門乎開 167
 石見爾有 134
 石見乃也 132
 石見之海 138
 石見乃海 131
 石見之海乃 135
 不破山越而 199
 (ヤブル)干磬破 101
 磬(イハ)磬隱座 199
 己知碁智乃枝之 210
 磬垣淵之 207
 磬根四卷乎 86
 磬根之卷有 225
 磬代乃 145
 磬白乃 141

示部

(ハ) 干磬破 101
 礮(イソ)礮者 131
 礮無登 131
 礮之於爾 166
 礮乃浦回乃 185
 (荒礮)(アリソ)荒礮爾會 135
 荒礮之上爾 138
 島之荒礮乎 181
 百礮城乃 155
 (荒礮)(アリソ) 131
 荒礮乃上爾 131
 荒礮面爾 220
 來依荒礮乎 222
 社(コソ)人社見良目 131
 人社不知 145
 風社依米 131
 浪社來緣 131
 (神社)(モリ)神社爾 202
 祈(禱祈)(イノレ)雖禱祈 202
 神(カミ)神乃御面跡 220

神等座者 204
 神爾不勝者 150
 神西座者 205
 神會著常云 101
 神之命等 167
 神之御子之 230
 神之神須疑 156
 眞神之原 199
 千萬神之 167
 神山之 157
 神岳乃 159
 (カム)神宮爾 199
 神風乃 162
 神風之 163
 神風爾 199
 神之神須疑 156
 神佐扶跡 199
 神上 167
 神下座奉之 167
 神集 167
 神分 167
 神葬 199

神柄加 220
 神隨 167
 (神樂)ササ神樂浪乃 199
 神樂波之 204
 (神社)モリ神社爾 154
 視(ミ)令視倍吉君之 206
 (ミレ)目爾者雖視 202
 福(フク)福路庭入 148
 禮(レ)子松之宇禮乎 166
 志賀左射禮浪 206
 何禮奈牟 146
 戀禮許會 160
 多氣婆奴禮 148
 雲立渡禮 166
 亂而來禮 148
 別來禮婆 166
 會知余里久禮婆 148
 香乎禮流國爾 166
 生乎爲禮流 148
 由遊志計禮杼母 166
 漬而奴禮計禮 148
 入日刺奴禮 166

佐麻欲比奴禮者 199
 痛莫波禰會 153
 痛勿波禰會 155
 山多都禰 85
 乞通來禰 150
 鹽干勿有會禰 229
 勿散禰 235
 禱(禱祈)イノレ雖禱祈 202
 禾部
 秋(アキ)秋立者 196
 秋之田 88
 秋田之 114
 秋乃月夜者 211
 秋月夜 214
 秋芽之 120
 野邊乃秋芽子 231
 秋山 235
 秋山爾 137
 秋山之 92
 秋山乎 106
 科(シナ)山科乃 155

積(ツミ)名積來之

積積來之 210

穗(ホ)

穗上爾 88

穗向乃 114

水穗之國乎 167

鳥穗自物 199

穴部

空(ウツ)空蟬 150

立部

立(タチ)朝立伊麻之互 210

朝立伊行而 213

吾立所霑之 105

吾立所沾 107

立向 230

立向之毛 199

立儀足 153

吾立聞者 207

雲立渡禮 225

出立 213

跡位浪立 220

竹(タケ)刺竹

刺竹之 199

柰用竹乃 167

竹部

童(ワラハ)如手童兒 210

端(ハシ)相競端爾 129

競(相競)アラソフ 199

相競端爾 196

(タタシ)御立之 178

(タタ)御立爲之 180

(立有)タテル 181

野中爾立有 144

堤爾立有 210

鳥堀立 182

秋立者 196

(タテ)立者 196

婦之念鳥立 153

立留 199

夕立而 230

栖立夫者 182

夕立而 217

(小竹)ササ小竹之葉者 135
 笛(フエ)笛乃音波 199
 笠(カサ)御笠山 252
 三笠山 234
 筥(ケ)筥爾盛飯乎 142
 等(ト)宇都會臣等 213
 宇都會臣等念之 210
 打蟬等 210
 神之命等 199
 神等座者 167
 敷座國等 204
 常宮等 199
 枕等卷而 222
 長等思伎 157
 不知等妹之 235
 浦無等 131
 滴無等 131
 妹者伊座等 210
 妹座等 215
 過伊去等 207
 定賜等 199
 伊卷渡等 199

掃部等 199
 明者失等言 217
 消等言 217
 後毛將相等 207
 將見等念八方 198
 將榮等 183
 情毛有八等 207
 亂有等母 124
 貴在等 167
 (ラ) 兒等爾者雖有 210
 騰遠依子等者 217
 過去子等我 217
 志我津子等何 218
 愛伎妻等者 220
 (吾等)(ワカ)吾等哭淚 177
 管(ツツ)歎管 118
 有我欲比管 145
 伊波比管 199
 戀管不有者 115
 戀管在爾 207
 見管思奴幡武 235
 在管裳 87

箭(ヤ) 箭繁計久 199
 選(ハコ)荷向選乃 100
 籠(コ) 八多籠良家 193
 米部
 米(メ) 風社依米 151

糸部
 繼(ナハ)栲紕之 217
 細(クハシ)名細之 220
 終(ヲヘ)共將終登 176
 絃(ヲ) 都良絃 99
 結(ムスビ)結松 144
 引結 141
 將結 145
 (ユハ)標結麻思乎 151
 (ユフ)山爾標結 154
 (ユヘ)標結吾勢 115
 (髮結)(モトユヒ) 吾髮結乃 118
 絕(タエ)名耳毛不絕 196
 目辭毛絕奴 196

七〇
 (タクレ)絶者生流 196
 (タク)絶多日二 122
 給(タマハ)問給麻思 159
 經(フ) 角鄣經 135
 (フル)流觸經 194
 綾(アヤ)綾爾憐 196
 綾爾畏伎 199
 (アヤニ)綾哀 159

綿
 (木綿)(ユフ) 山邊真蘇木綿 157
 短木綿 157
 木綿花乃 199
 緒(ヲ) 荷之緒爾毛 100
 緣(ヨリ)彼緣此依 131
 緣來玉乎 226
 異所緣 114
 (ヨレ)浪社來緣 131
 (ヨシ)相緣無 213
 (所緣)(ヨレル) 穗向乃所緣 114
 (由緣)(ツレ)由緣母無 167

綠(ミドリ)綠兒之 213
 縱(ヨシ)縱書屋師 131
 縱惠夜思 138
 人者縱 149

繁(シゲク)繁荒有可 232
 (シゲ)繁美許知痛美 116
 箭繁計久 199
 繼(ツギ)繼而見麻思乎 91
 繼而毛見武爾 91
 纏(マキ)手枕纏而 217

罔部

置(オキ)形見爾置 210
 枕爾置 226
 置而之來者 131
 妹乎置而 212
 君乎置而 227
 朝爾置而 217
 (オキテ)妹置 215
 (オク)霜乃置萬代日 87
 (置有)(オケル) 形見爾置有 213

罷(マカリ)罷道之 218

羊部

美(ミ) 佐美乃山 221
 於可美爾 104
 四我良美渡之 197
 文爾恐美 204
 繁美許知痛美 116
 覆乎安美 93
 津乃浦手無美 138
 群(ムレ)群居乍 177

羽部

羽(ハ) 羽易乃山爾 210
 羽易山爾 213
 朝羽振 131
 夕羽振 151
 晝羽裳 210
 夜羽毛 204
 賀欲布跡羽 148
 翔(カケル)鳥翔成 145

老部

者(ハ) 王者神西座者 205
 我王者 202
 大山守者 154
 大宮人者 155
 引人者 99
 舍人者迷惑 201
 人者縱念息登母 149
 人者反而 143
 人皆者 124
 奈用竹乃騰遠依子 217
 等者 214
 相見之妹者 211
 妹者伊座等 210
 其孀子者 217
 愛伎妻等者 220
 梓弓都良絃取波氣 99
 引人者 207
 名延之妹者 217
 騰遠依子等者 140
 君者雖言 140

吾待君者 224
 吾者毛也 95
 吾者聞流乎 126
 遊士爾吾者有家里 127
 吾者皆悉 195
 吾者有家里 127
 吾者妹思 135
 君名者雖有 93
 妹之名者千代爾將 93
 流 223
 伊勢能國者 162
 讚岐國者 220
 島者雖多 220
 島御門者 175
 宇陀乃大野者 191
 輕路者 207
 里者放奴 131
 野邊往道者 552
 磯者 151
 浦者無友 151
 浦者雖無 158
 滴者無軀 151

滴者雖無 153
 日者雖照有 169
 晝者母日之盡 215
 且者浦不恰晚之 215
 秋乃月夜者 211
 左宿夜者幾毛不有 155
 夜者母夜之盡 155
 夜者息衝明之 215
 夜者裳氣衝明之 196
 春部者花折挿頭 215
 御壽者長久天足有 147
 霜者零騰文 89
 零雪者 205
 戀良武鳥者 112
 小竹之葉者 155
 松者知良武 145
 玉松之枝者 115
 玉藻者生流 135
 生玉藻者 194
 衣袖者 194
 衣者沾而 194
 太心者有之香符 190

衣之袖者 159
 玉藻者盪打 194
 鼓之音者 199
 幡之塵者 199
 落卷者後 105
 不成有者 102
 須臾者勿散亂會 137
 兒等爾者雖有 210
 島宮爾者 179
 目爾者雖視 148
 待爾者不待 90
 御念從者 92
 從明日者 165
 戀乍不有者 86
 戀管不有者 115
 佐不寐者遂爾有勝 94
 麻之自 87
 君乎者將待 89
 瀨者不渡而 130
 當者隱來計類 136
 明者失等言 217

(バ)(未然形所屬)

一日者 186
 夕者消等言 217
 妹者雖有 210
 風流士者有 127
 家知者 220
 吾引者 96
 引者隨意 98
 開而行者 91
 不止行者 207
 眞根久往者 207
 直相者 225
 暮去者 121
 家知者 220
 妻知者 220
 反居者 187
 眞幸有者 141
 妻毛有者 221
 玉有者 150
 衣有者 150
 塞益者 197
 所知食世者 167

(已然形所屬)

伊座世者 173
 栖立去者 182
 消者消倍久 199
 消者消言爾 199
 物之無者 210
 吾立聞者 207
 聞者泣耳師所哭 250
 山徑往者 212
 日之入去者 188
 臥者 196
 神等座者 204
 神西座者 205
 君座者 174
 灰而座者 213
 立者 196
 秋立者 196
 玉梓之使乃言者 207
 人之云者 210
 人云者 213
 不見思者 210
 申賜者 199

(二ハ)且者

任賜者 199
 何如問者 230
 暮爾至者 163
 語者 250
 暮去者 159
 夕去者 159
 露霖爾落者 138
 明來者 230
 置而之來者 135
 隱比來者 151
 吾榜來者 158
 春去來者 159
 別之來者 220
 干者波由流 155
 絕者生流 147
 振放見者 196
 今見者 181
 猶預不定見者 190
 使乎見者 209
 吾屋乎見者 216
 見者不恰毛 218
 慮作而見者 220

奧見者 220
 邊見者 220
 家有者 141
 旅爾之有者 142
 里爾思有者 207
 念乍有者 227
 多香根者長寸 123
 有不得者 207
 背之不得者 210
 背不得者 213
 似之不去者 207
 佐母良比不得者 199
 未盡者 199
 人音毛不爲者 189
 於身副不寐者 194
 神爾不勝者 150
 於保爾見敷者 219
 佐麻欲比奴禮者 199

而部

而
 (テ)
 仰而待爾 167

朝爾置而 217
 妹乎置而 212
 君乎置而 227
 聞而有不得者 207
 聲爾聞而 207
 聲耳聞而 207
 名耳聞而 207
 花耳聞而 102
 咲而散去流 120
 著而有火之 199
 手枕纏而 217
 邊附而 153
 繼而見麻思乎 89
 枕等卷而 91
 朝立伊行而 222
 居明而 213
 幸而 89
 海邊乎指而 196
 集座而 131
 安母理座而 138
 葬伊座而 199
 所念食而 199

枕爾爲而 220
 太布座而 167
 太敷座而 199
 高知座而 167
 夕立而 217
 手爾卷持而 150
 持而加欲波久 217
 取持而 113
 手取持而 210
 念而寐良武 230
 念而有之 217
 於可美爾言而 183
 相屋常念而 104
 定賜而 194
 覆賜而 199
 喚賜而 199
 拂賜而 199
 妹之名喚而 207
 益爲爾知而 109
 通而沾奴 135
 探而多宜麻之 221
 人者反而 143

裝束奉而 199
 高之奉而 199
 貝爾交而 224
 石根割見而 213
 思憑而 167
 取而裏而 207
 亂而來禮 199
 月牟離而 161
 梶引折而 220
 家來而 216
 不引爲而 97
 廬作而見者 220
 過而來計類 136
 漬而奴禮計禮 118
 衣渥漬而 230
 人目爾戀而 170
 宇真人佐備而 96
 開而行者 93
 船浮而 220
 懸而將偲 199
 奧放而 155
 佐夜深而 105

春冬片設而 191
 八重搔別而 167
 不破山越而 199
 思志萎而 138
 念之萎而 196
 念之奈要而 151
 衣者沾而 194
 放居而吾戀君 150
 遺居而 115
 離居而朝嘆君 150
 島爾下座而 188
 妹爾不相而 125
 瀨者不渡而 130
 去年見而之 211
 繼而毛見武爾 214
 往而毛將告 220
 姬爾爲而也 129
 泣乍在而哉 155
 何時跡知而加 140
 置而之來者 151
 幾許照而有 230

耳部

耳部

(ニテ)灰而座者 215
 (ミミ)耳爾好似 156
 (ノミ)花耳開而 128
 名耳毛不絕 102
 名耳聞而 196
 音耳母 207
 聲耳乎 207
 聲耳聞而 207
 隱耳戀管在爾 207
 如此耳故爾 207
 哭耳乎 157
 泣耳師所哭 230
 不欲常將言可聞 96
 波思吉香聞 113
 又將見香聞 146
 奈世流君香聞 222
 (キキ)聞之恐久 199
 聞惑麻低 199
 吾聞之 128

聲爾聞而 207
 聞而有不得者 207
 聲耳聞而 207
 名耳聞而 207
 (キク)音聞吾母 217
 雷之聲登聞麻低 199
 (キケ)吾立聞者 207
 聞者 230
 吾者聞流乎 126
 (所聞)(キコエ) 207
 音母不所聞 207
 (キコシ)所聞見爲 199
 聲(コエ)雷之聲登聞麻低 199
 (オト)聲爾聞而 207
 聲耳乎 207
 聲耳聞而 207
 肉部 一云

背不得者 213
 脊插持 213
 能(ワキ)脊插持 215
 能(ノ)能杼爾賀有萬思 197
 伊勢能國 162
 明日香能 162
 多藝能御門 163
 木旗能上乎 184
 三井能上從 111
 人能兒故爾 148
 泊流登麻里能 122
 於曾能風流士 126
 足日本能 108
 烏玉能 199
 久堅能 199
 鹽氣能味 162
 (ヨシ)能啖八師 151
 脫(ヌグ)脫時毛無 150
 腋(ワキ)腋挾持 210
 膚(ハダ)柔膚尙乎 194
 臣部 一云
 臣(ミ)宇都會臣等 213

宇都會臣跡 196
 臥(フシ)臥居雖嘆 204
 (フセ)臥者 195
 自部

石乍自 (ジ) 156
 鹿自物 199
 鳥自物 210
 鳥穗自物 210
 男自物 213
 有勝麻之自 (ヨリ) 94
 自伏君之 135
 至部 220
 至(ナレ)暮爾至者 189
 白部 157
 白(須臾)(シマシク)須臾毛 119
 (シマラク)須臾者 197
 與(ヨ)與杼爾加有益 一云

(アタフル)取與
 (ト)天地與
 日月與共 220
 吾妹子與 210
 君與時時 215

舌部

舍(舍人)(トネリ) 201
 舍人者迷惑

舛部

舞(マハ)誰加佳舞無 187

舟部

舟(フネ)大舟之 155
 船(フネ)船浮而 220
 大御船 151
 大船之 109
 大船 122
 行船乃 196
 榜來船 220
 153
 153

良部

都良絃 99
 四我良美渡之 197
 安良蘇布波之爾 199
 佐母良比不得者 199
 作良志之 199
 如是毛安良無登 199
 隱良久惜毛 169
 過去計良受也 221
 志努布良武 151
 松者知良武 145
 戀良武鳥者 112
 待加戀良武 220
 念而寐良武 217
 搔入津良武香 128
 妹見都良武香 132
 夜床母荒良無 194
 人社見良目 145
 見良目杼母 159
 召賜良之 159
 問賜良之 159

色部

八多籠良家 193

色(シキ)色妙乃 222

艸部

花(ハナ)花耳開而 102
 花折挿頭 196
 花爾有猿尾 120
 春花之 167
 木綿花乃 199
 芳(ヨシ)芳野河 119
 芽(ハギ)秋芽之 120
 (芽子)(ハギ) 119
 野邊乃秋芽子 251
 荳(カリ)玉藻手名 255
 荳草乃 110
 水薦荳 96
 三薦荳 97
 若(ワカ)若草乃 153
 若草 217
 (若兒)(ミドリコ)若兒乃 210

(若末)(ウレ)葦若末乃 128
 苦(ク) 見卷苦流思母 239
 若(シゲキ)茂之如久 210
 茂如 215
 茂濱邊乎 220
 (シゲミ)黃葉乎茂 208
 茵(アカネ)茜刺 169
 草(クサ)刈草乃 110
 不生有之草 181
 夏草之 151
 夏草乃 153
 若草乃 155
 若草 217
 草枕 142
 荒(アレ)荒卷惜毛 168
 不荒有益乎 194
 繁荒有可 254
 荒爾計類鴨 232
 (アル)夜床母荒良無 172
 (アラ)荒備勿行 159
 荒妙乃 215
 燎流荒野爾 210

夷之荒野爾 227
 荒床 220
 荒浪爾 226
 (荒磯)(アリソ) 215
 荒磯乃上爾 151
 荒磯爾會 138
 島之荒磯乎 181
 來依荒磯乎 222
 荒磯面爾 220
 荷(ニ) 荷之緒爾毛 100
 (荷向)(ノサキ)荷向篋乃 100
 莫(ナ) 痛莫波爾會 153
 知跡言莫君二 97
 萎(ナニ)思志萎而 138
 念之萎而 196
 萬(マ) 泊之登萬里人 151
 召賜萬旨 159
 能杼爾賀有萬旨 197
 霜乃置萬代日 87
 蘿生萬代爾 228
 (ヨロツ)萬代 199
 萬代爾 171

萬代跡 199
 及萬代 196
 萬段 151
 八百萬千萬神之 138
 落(フラ)令落 104
 落卷者後 105
 (フリ)安幡爾勿落 105
 (フル)三零落 199
 (フレ)籙霖爾落者 250
 (落有)(フレリ)大雪落有 105
 (チリ)落去奈倍爾 209
 (オツル)落黃葉 157
 葉(ハ) 小竹之葉者 133
 椎之葉爾盛 142
 春葉之 210
 春葉 215
 弓絃葉乃 111
 (黃葉)(モミヂ) 山之黃葉乎 159
 黃葉乎茂 208
 (モミヂバ)黃葉乃 135
 黃葉之 209

落黃葉 196
 黃葉挿頭 199
 著(キ) 麻衣著 199
 (ツキ)著而有火之 199
 (ツク)神會著常云 101
 葛(カツラ)狹名葛 94
 狹根葛 207
 玉葛 101
 葦(アシ)葦若末乃 128
 葦原乃 167
 葬(ハフリ)神葬伊座而 199
 蓋(カゲ)蓋哉鳴之 112
 蔭(カゲ)陰履路乃 125
 薦(スス)水薦刈 96
 三薦刈 97
 藝(ギ) 多藝能御門爾 184
 藻(モ) 川藻毛叙 196
 川藻之如久 196
 奧津藻毛 162
 奧津藻之 207
 息津藻 151
 息都藻 133
 漢字索引 133

玉藻 151
 玉藻刈手名 121
 玉藻者生流 135
 玉藻毛叙 196
 生玉藻者 194
 玉藻之如許呂 196
 玉藻成 131
 玉藻吉 135
 玉藻者壅打 220
 氣留敷藻 194
 蘇(ソ) 山邊眞蘇木線 159
 安良蘇布波之爾 199
 蘿(カツラ)玉蘿 149
 蘿(コケ)蘿生萬代爾 228
 虎(トラ)虎可叫吼登 199
 虛(コ) 所虛故 194
 虛知期知爾 215
 虫部 153
 蚊(カ) 蚊青生

蜻(カギル)玉蜻 207
 珠蜻 210
 (カギロ)蜻火之 210
 蟬(セミ)空蟬 150
 打蟬等 199
 打蟬跡 210
 行部 85
 行(ユキ)(體)君之行 85
 (ユカ)迎加將行 85
 滿將行 220
 開而行者 93
 不止行者 207
 (ユカメ)酌爾雖行 158
 (ユキ)荒備勿行 172
 朝立伊行而 213
 (ユク)行路乎 180
 行船乃 220
 道行人毛 207
 行方不知毛 167
 (ユケ)二人行杼 206
 (行宮)(カリミヤ) 七九

行宮爾 199
(行事)(ワザ)
強作留行事乎 97

(所知行)(シラシメス)
所知行神之命等 167

衝(ツキ)氣衝明之 210
息衝明之 213
衝(チマタ)八衝爾 125

衣部

衣(エ)安見兒衣多利 95
(キヌ)衣有者 150
(コロモ)衣之袖者 159

衣者沾而 194
衣渥漬而 230

袂(ソデ)吾袂振乎 215
袂(ソデ)袖携 196

袖易之君 95

覆(オホヒ)覆賜而 199
(オホフ)覆乎安美 93
(クモリ)且覆 188

見部

見(ミ)
繼而毛見武爾 156
亦還見武 91

妹之門將見 131
角里將見 141
妹之當將見 137
後將見跡 146
弟世登吾將見 165
將見等念八方 198
見卷苦流思母 229
繼而見麻思乎 91
比來不見爾 128
不見在之物乎 175
見感麻低爾 199
仰見之 174
外爾見之 168
相見之妹者 211
一云 214

西部

裏(ツツミ)取而裏而 160
飽不足香裳 204
直爾不相香裳 148

西(ニシ)神西座者 205
隱西加婆 215

要(エ)念之奈要而 151

裝(ウラ)裏佐備晚 159
我振袖乎 159
妹袖 132
衣袖 135
衣之袖者 159
袖曾振鶴 207

(裝束)(ヨソヒ)裝束奉而 199
裳(モ)毛許呂裳遠 191
髣髴谷裳 210
在管裳 87

晝羽裳 210
夜者裳 210
直爾不相香裳 148

(ミレ)振放見者 147
今見者 181
猶預不定見者 196
使乎見者 209
吾屋乎見者 216
見者不怜毛 218
奧見者 220
邊見者 220
廬作而見者 220
雖見不厭 196
雖見不飽 220
(ミエ)清爾毛不見 135
不見思者 210
(ミマク)欲見 164
欲見騰 207
(所見)(ミエ)影爾所見乍 149
所見鶴 150

(令見)(ミセ) 199
日之目毛不令見 199
(見爲)(メス)所聞見爲 196
(ミ)形見何此焉 196
形見爾置 210

形見爾置有 215
君之形見爾 233
石見乃海 151
石見之海 138
石見之海乃 135
石見乃也 132
石見爾有 134
和射見我原乃 199
安見兒得有 95
安見兒衣多利 95
宇都會見乃 165
安見知之 204
爲便乎無見 207
相因乎無見 210
逝瀨之早見 119
人目乎多見 207
石根左久見手 210
石根割見而 215
敵見有 199
人應知見 207
(將見圓)(ミモロ) 94
將見圓山乃 94

君之見師髮 124
吾二人見之 210
不止出見之 207
吾二見之 215
髣髴見之 217
於保爾見敷者 219
妹見監鴨 134
後將見鴨 145
又將見香聞 146
又將見鴨 185
去年見而之 211
振放見乍 159
見乍將偲 199
見管思奴幡武 199
妹見都良香 225
妹將見香 132
人社見良目 139
見良目杼母 145
(ミル)島乎見時 178
見人無爾 231
野火登見左右 230
天見如久 168

角部

角(ツヌ)角乃浦回乎
 角里將見
 高角山之
 高角山乃
 角郵經
 (小角)(クダ)小角乃音母
 解(トケ)情毛不解
 觸(フリ)流觸經

言部

不飲(イナ)
 言 不言(欲)常將言可聞
 (コト)君之御言乎
 御言不御問乎
 召言毛無
 言佐徹久
 明言爾
 (イハ)不欲常將言可聞
 將言爲便
 不言八面

角部

有登不言八方
 知跡言莫言君二
 在常不言爾
 (イハマク)言久母
 (イヒ)於可美爾言而
 (イヘ)使乃言者
 多計登雖言
 君者雖言
 消等言
 明者失等言
 (イヘル)本名言
 (トフ)消者消言爾
 計(ケ) 箭繁計久
 由遊志計禮杼母
 滿波之計武跡
 多計登雖言
 過去計良受也
 過而來計類
 所念有計類
 當者隱來計留
 荒爾計類鴨
 漬而奴禮計禮

君之沾計武
 柰何可來計武
 設(マケ)春冬片設而
 許(コ)毛許呂裳遠
 繁美許知痛美
 玉藻之如許呂
 吾許曾益目
 戀亂許會
 (バカリ)此如許
 如此許
 (幾許)(コダ)幾許貴寸
 幾許照而有
 語(カタラ)吾爾語久
 (カタレ)語者
 誰(タガ)爲誰可
 誰戀爾有目
 (タレ)誰加住舞無
 誰將告
 諸(モロ)諸人
 諸人之
 三諸之
 變(カハラ)夜鳴戀布

讚(サヌ)讚岐國者

谷部

谷(タニ)谷爾
 (ダニ)(助詞)夢爾谷
 明日谷
 獨谷似之不去者
 髣髴谷裳

豆部

豆(ツ) 山多豆乃
 和多豆乃

豕部

豫(カネテ)豫知勢婆

貝部

貝(カヒ)貝爾交而
 貴(タフト)幾許貴寸
 (貴在)(タフトカラム)
 春花之貴在等
 賀(カ) 四賀乃辛崎

漢字索引

赤部

赤(アカ)赤根刺

走部

越(ワシリ)越出之
 越(チ)越乃大野之
 越野過去
 (コエ)山毛越來奴
 不破山越而
 (コユ)獨越武

足部

足(アシ)足日本乃
 足日本能
 足痛吾勢
 (タラ)飽不足香裳
 (タル)立儀足
 (ヌラシ)長久天足有
 (シ)靡足波爾
 (足搔)(アガキ)足搔乎速
 跡(ト) 生跡毛無

山跡有 117
 大夫跡 226
 遊士跡 199
 宇都會臣跡 199
 打蟬跡 97
 神乃御面跡 148
 常都御門跡 108
 家跡住鳥毛 107
 常宮跡 138
 萬代跡 138
 何時跡知而加 124
 今波長跡 140
 浦無跡 199
 滿無跡 196
 妹待跡 180
 吾乎待跡 174
 賀欲布跡羽 220
 知跡言莫君二 210
 神佐扶跡 196
 國乎治跡 126
 吾此間有跡 126
 片戀將爲跡 91

滿波之計武跡 167
 後將見跡 146
 人乎和爲跡 199
 勿念跡 140
 常丹跡君之 206
 (跡位)シキ跡位浪立 220
 路(ロ)福路庭 160
 (ミチ)蔭履路乃 125
 行路乎 195
 輕路者 207
 (チ)袞路 215
 山路念邇 215
 身部 217
 於身副不寐者 194
 身二副寐價牟 199
 大御身爾 159
 車部 207
 軍(軍士)イクサ御軍士乎 199
 輕(カル)輕路者 199
 輕市爾 159

輪(ワ)三輪須惠 202
 辛部 155
 辛(カラ)辛乃崎有 152
 四賀乃辛崎 196
 辭(コト)目辭毛絕奴
 走部 85
 迎(ムカヘ)迎加將行 90
 迎乎將往 208
 迷(マドハセ)迷流
 (迷惑)マドフ 201
 舍人者迷惑 115
 追(オヒ)追及武 135
 通(トホリ)通而沽奴 130
 (カヨヒ)乞通來爾 119
 (不通)ヨドム不通事無 92
 逝(ユク)逝水乃 136
 逝瀨之早見 197
 速(ハヤミ)足搔乎速 197
 進(ナガル)進留水母 136
 遂(ツヒ)佐不寐者遂爾 94

遊(ユ)

由遊志計禮杼母 199
 鳴渡遊久 111
 野邊從遊久道 234
 由久遊久登 130
 (アソビ)遊賜之 196
 (遊士)ミヤビテ遊士跡 126
 遊士爾 127
 遍(タビ)千遍參入之 186
 過(スギ)過牟登念哉 199
 未過爾 199
 去過難寸 106
 越野過去 195
 乎知野爾過去 195
 過去計良受也 221
 過去子等我 217
 過而來計類 136
 (スギテ)過伊去等 207
 道(ミチ)道之白鳴 158
 道太爾不知 220
 道之阿回爾 115
 道行人毛 207
 道來人乃 230
 漢字索引

遣(チ)

木丘開道乎 185
 野邊往道者 232
 野邊從遊久道 254
 川瀨道 218
 此道乃 131
 此道之 153
 官道叙爲 193
 山道不知母 208
 衾道乎 212
 罷道之 218
 違(タガヒ)情違奴 176
 遠(チ)騰遠依子等者 217
 毛許呂裳遠 191
 (トホ)彌遠爾 151
 彌遠久 138
 遣(ヤル)倭邊遣登 105
 遣問流 196
 (遣使)ツカハシ 207
 遣使 199
 遺(オクレ)遺居而 115
 還(カヘシ)令還吾會 127
 (カヘセ)吾乎還利 126

邊(ヘ)

(カヘリ)亦還見武 215
 邊(ニ)山路念邇 141
 (體言)邊附而 155
 邊津加伊 220
 邊見者 155
 海邊乎指而 220
 野邊乃秋芽子 151
 野邊往道者 251
 野邊從遊久道 255
 野邊從遊久道 232
 彼方野邊爾 110
 浪音乃茂濱邊乎 220
 佐太乃岡邊爾 220
 佐田之岡邊爾 177
 山邊眞蘇木綿 187
 歸邊不知爾爲 192
 何時邊乃方二 157
 (助詞)倭邊遣登 179
 邑部 88
 郎(ラ)多和郎波乃如 105
 部(ブ)下部留妹 129
 八五

(ベ) 春部者 196
掃部等 199
宇都會臣等 210
宇都會臣 213
宇都會見乃 165
都良絃 99
延都多乃 135
山多都禰 85
妹見都良武香 132
息都藻 138
常都御門跡 174
鄣(サハ)角鄣經 135
鄉(サト)古爾之鄉爾 103

西部

酌(クミ)酌爾雖行 158
醉(マサキ)今波長跡 217
馬醉木(アシビ) 166

里部

(ナガシ)今波長跡 217
(ナガキ)長命乎 124
(ナガ)氣長久成奴 90
長久天足有 147
彌遠長久 196
多香根者長寸 123

門部

門(カド)妹之門將見 131
御門之人毛 199
天津御門乎 199
御門之原爾 199
皇子之御門乎 199
御門之 199
島御門者 173
島乃御門爾 189
多藝能御門爾 184
大寸御門乎 186
常都御門跡 174
吾御門 185
石門乎開 (ト) 167
水門(ミナト) (水門) 167

里(リ) 伊久里爾會 135
泊流登麻里能 122
泊之登萬里人 151
尙戀二家里 117
吾者有家里 127
會知餘里久禮婆 (サト)里者放奴 199
里放來奴 151
里爾思有者 207
角里將見 138
吾里爾 105

重部

重(ヘ) 八重搔別而 167
五百重之下爾 205
千重之一隔 207
野(ヌ) 芳野河 119
三吉野乃 115
越乃大野之 194
越野過去 195
乎知野爾過去 191
宇陀乃大野者 231
野邊乃秋芽子 235
野邊往道者 232

阜部

中乃水門從 220
開(ヒラキ)石門乎開 167
(サキ)花耳開而 102
開香將散 231
(サク)木丘開道乎 185
(アケ)開而行者 93
間(マ) 木間從文 154
自雲間 155
(アヒダ)束間毛 110
(此間)(ココ)吾此間有跡 226
(世間)(ヨノナカ)世間乎 210
關(ヤミ)常闇爾 199

阜部

阿(クマ)道之阿回爾 115
陀(タ) 宇陀乃大野者 191
附(ツキ)邊附而 153
(ツク)枕附 215
多田名附 194
山之四附二 107
陳(タナビク)陣雲之 161
陵(ハカ)御陵奉仕流 155

金部

野邊從遊久道 234
彼方野邊爾 110
野中爾立有 144
野上乃宇波疑 221
野每 199
燎流荒野爾 210
夷之荒野爾 215
春野燒 230
春野燒火乃 199
野火登見左右 230

金(カネ)忍金手武 129
止曾金鶴 178
鎮目金津毛 190

鏡(カガミ)鏡山爾 155
鏡成 196

鎮(シヅメ)鎮目金波毛 190

長部

長(ナガク)氣長成奴 85
長等思伎 157

隅(スミ)八隅知之 175

隈(クマ)佐日之隅回乎 181

際(マ) 木際從 132

隔(ヘ) 千重之一隔毛 207

隨(ナガラ)神隨 167

皇子隨 199

(隨意)(マニマニ)隨意 98

隱(カクラ)隱良久惜毛 169

(カクリ)磐隱座 199

樹下隱 92

隱賜比奴 205

天領巾隱 210

當者隱來計留 136

隱去之鹿齒 210

隱西加婆 215

(カクル)雲隱如 207

(カクロ)隱比來者 135

(コモリ)隱耳戀管在爾 207

隱沼乃 201

(隱有)(コモル) 155
孀隱有 155

(ナバリ)吉隱之

205

佳部

雄(ヲ)鬼乃益ト雄

117

集(ツドヒ)神集集座而

167

霍(霍公鳥)(ホトトギス)

霍公鳥

112

雖(ト)臥居雖嘆

多計登雖言

124

雖伺侍

184

雖侍候

199

顧雖爲

138

君名者雖有

93

兒等爾者雖有

210

妹者雖有

210

妹庭雖有

215

妹庭雖在

215

日者雖照有

169

島者雖多

220

酌爾雖行

158

(トモ)雖嘆

215

雖照

211

雨部

雪(ユキ)雪之摧之

104

零雪者

203

大雪落有

103

大雪乃

199

三雪落

199

雲(クモ)雲立渡禮

160

陳雲之

225

天雲之

161

天雲乎

167

青雲之

169

八重雲別而

161

雲隱如

167

自雲間

207

雲居會

135

雲居爾吹爾

136

已伎大雲

220

吉雲會無寸

232

好雲叙無

210

零(フル)霜者零騰文

215

雲

89

(ナバリ)吉隱之

205

佳部

雄(ヲ)鬼乃益ト雄

117

集(ツドヒ)神集集座而

167

霍(霍公鳥)(ホトトギス)

霍公鳥

112

雖(ト)臥居雖嘆

多計登雖言

124

雖伺侍

184

雖侍候

199

顧雖爲

138

君名者雖有

93

兒等爾者雖有

210

妹者雖有

210

妹庭雖有

215

妹庭雖在

215

日者雖照有

169

島者雖多

220

酌爾雖行

158

(トモ)雖嘆

215

雖照

211

雨部

雪(ユキ)雪之摧之

104

零雪者

203

大雪落有

103

大雪乃

199

三雪落

199

雲(クモ)雲立渡禮

160

陳雲之

225

天雲之

161

天雲乎

167

青雲之

169

八重雲別而

161

雲隱如

167

自雲間

207

雲居會

135

雲居爾吹爾

136

已伎大雲

220

吉雲會無寸

232

好雲叙無

210

零(フル)霜者零騰文

215

雲

89

零雪者

雷(イカヅチ)雷之

205

霖(コサメ)霖霖爾落者

199

霽(コサメ)霽霖爾落者

230

霖(コサメ)霖霖爾落者

230

霽(ヌレ)吾立所霽之

105

霜(シモ)霜乃置萬代日

87

霜者零騰文

89

朝霜之

199

露霜乃

131

露霜之

138

其乎霜

199

霞(カスミ)朝霞

204

霰(コサメ)霽霖爾落者

88

霧(キリ)霧已曾婆

250

夕霧爾

217

夕霧乃如也

194

(霧相)(キラフ)

217

穗上爾霧相

88

霰(アラレ)霰成

199

露(ツユ)露已曾婆

217

且露爾

194

漢字索引

引

(靡相)(ナビカヒ)靡相之

194

面部

面(オモ)神乃御面跡

220

(モ)不言八面

160

荒磯面爾

220

革部

鞞(トモ)瀟者無鞞

131

音部

音(オト)音耳母

196

音母不所聞

207

音聞吾母

217

鼓之音者

199

小角乃音母

199

人音毛不爲者

189

浪音乃

220

笛乃音波

199

響(ナセ)吹響流

199

頁部

一云

頁部

八九

須(ス) 神之神須疑

三輪須惠

(須臾)(シマシク)須臾毛

(シマラク)須臾者

預 (猶預不定)(タユタフ)

猶預不定見者

領 (領巾)(ヒレ)天領巾隱

頭 (插頭)(カザシ)花折插頭

黃葉插頭

類(ツラ)益目類染

類(ル) 過來計類

所念有計類

荒爾計類鴨

顧(カヘリミ)顧爲騰

顧雖爲

風(カゼ)風社依米

風已曾來依

風部

158 181 158 151 234 206 136 196 196 210 215 196 119 202 156

風之共

神風乃

神風之

神風爾

時風

(風流士)(ミヤビチ)

於曾能風流士

風流士者有

鷹(ツムジ)鷹可毛

飛部

飛(トビ)飛反來年

(トブ)天飛也

飛鳥之

飛鳥

食部

食(ケ) 御食向

(チヌ)食國

食國乎

(メシ)所知食之

所知食世者

167 162 199 167 196 194 167 207 182 199 127 126 220 199 165 162 199

所念食而

(メス)所知食登

(メセ)所念食可

御念食可

飯(イヒ)筭爾盛飯乎

飼(カヒ)飼之鷹乃兒

飽(アカ)不飽鴨

雖見不飽

(アキ)飽不足香裳

養(カヒ)猪養乃岡之

香部

香(カ) 香青生

香切火之

香來山之宮

御在香乎

淺香乃浦爾

明日香能

明日香乃

明日香河

明日香乃河

194 196 197 198 199 162 121 167 199 215 151 205 204 220 179 182 142 167 162 167 199

馬(ウマ)馬疲爾

(馬醉木)(アシビ)

馬醉木乎

駒(コマ)青駒之

馬部

念香毛

有巨勢濃香毛

飽不足香裳

直爾不相香裳

奈世流君香聞

又將見香聞

波思吉香聞

乘爾家留香聞

妹將見香

妹見都良武香

搔入津良武香

開香將散

有之香抒

多香根者長寸

香乎禮流國爾

明日香乃河之

198 119 204 148 222 146 115 100 139 132 125 231 190 125 162 196 一云

駕(御駕)(イデマシ)御駕之

驟(サワギ)弓波受乃驟

騰(ト) 騰遠依子等者

安騰毛比賜

吾戀流其騰

霜者零騰文

(ド)

欲見騰

顧爲騰

深目手思騰

恐有騰文

高(タカ)高照

高光

高日所知奴

高山之

高角山

高圓山爾

高圓之野邊

高知座而

益高爾

(タカク)高之奉而

199 151 167 231 230 152 86 202 171 162 188 233 134 175 167 204 199 135 151 207 89 112 199 217 199 250

髟部

(髟髟)(ホノカニ)

髟髟谷裳

(オホニ)髟髟見之

髮(カミ)妹之髮

君之見師髮

吾黑髮爾

(髮結)(モトユヒ)

吾髮結乃

(髟髟)(ホノカニ)

髟髟谷裳

(オホニ)髟髟見之

鬘

鬘

(鬱悒)(オボホシク)鬱悒

鬱悒久

鬼部

九一

九一

鬼(シコ)鬼乃益下雄

117

魚部

魚(ナ)勇魚取

138

(鯨魚)(イサナ)鯨魚取

151

(兼ノ誤)名具鮫魚天

194

鮫(サメ)名具鮫魚天

194

鯨(鯨魚)(イサナ)

151

鯨魚取

153

鳥部

鳥(トリ)鳥之鳴

199

鳥自物

210

鳴鳥之

192

喧鳥之

207

家跡住鳥毛

180

孀之念鳥立

153

戀流鳥鴨

111

戀良武鳥者

112

去鳥乃

199

飛鳥

194

飛鳥之

167

何鴨

230

旅宿鴨爲留

194

今日毛鴨

159

明日毛鴨

159

不飽鴨

179

然有鴨

196

忌之伎鴨

199

變渡鴨

200

侍宿爲鴨

174

所念武鴨

191

知勝奴鴨

98

入不勝鴨

186

不所念鴨

149

嘆鶴鴨

188

生爾來鴨

181

荒爾計類鴨

234

妹見監鴨

134

復將見鴨

143

又將見鴨

185

鷓(ウヅラ)鷓成

199

鶴(ツル)所見鶴

150

止會金鶴

178

袖會振鶴

207

嘆鶴鴨

188

鹵部

鹽(シホ)鹽滿來奈武

121

鹽氣能味

162

鹽干勿有會禰

229

鹿部

鹿(カ)宮出毛爲鹿

175

隱去之鹿齒

210

(シシ)鹿自物

199

麻部

麻(マ)泊流登麻里能

122

朝立伊麻之互

210

佐麻欲比奴禮者

199

(マシ)の(マ)

159

問給麻思

171

國所知麻之

86

死奈麻死物乎

221

採而多宜麻之

221

漢字索引

何鴨

230

旅宿鴨爲留

194

今日毛鴨

159

明日毛鴨

159

不飽鴨

179

然有鴨

196

忌之伎鴨

199

變渡鴨

200

侍宿爲鴨

174

所念武鴨

191

知勝奴鴨

98

入不勝鴨

186

不所念鴨

149

嘆鶴鴨

188

生爾來鴨

181

荒爾計類鴨

234

妹見監鴨

134

復將見鴨

143

又將見鴨

185

鷓(ウヅラ)鷓成

199

鶴(ツル)所見鶴

150

止會金鶴

178

黑部

黑(クロ)吾黑髮爾

87

鼓部

鼓(ツヅミ)鼓之音者

199

齊部

齊(トトノフ)齊流

199

(イツキ)齊宮從

199

齒部

齒(ハ)隱去之鹿齒

210

黃部

(黃葉)(モミヂハ)落黃葉

157

黃葉插頭

196

黃葉乃

155

黃葉之

209

(モミヂ)山之黃葉乎

159

黃葉乎茂

208

1946. 3. 11. Kauf. Takamatsu.

L63.

昭和七年六月廿七日印刷
昭和七年七月一日發行
昭和十四年三月一日四版發行

定價金五圓五拾錢

著者 山田孝雄

發行者 大葉久吉

印刷者 東勇治

不許複製
萬葉集講義
(第二卷)



發行所 株式會社 寶文館

關西專賣 株式會社 大阪寶文館

東京市日本橋區室町四丁目
振替口座東京二八〇番

大阪府西區阿波堀通四丁目
振替口座大阪四三番

共同印刷株式會社印刷

文學博士 山田孝雄著

萬葉集講義 卷第一

菊判布裝全一冊
定價金三圓五拾錢
送料金拾八錢

近時萬葉集に關する著作の公刊せらるゝもの尠からずいづれも特色を有して學界を益するに足る。されど萬葉研究本來の目的は訓詁に在り。訓詁に關しては古來研究に研究を重ねられ、萬葉は最早訓詁の時代を過ぎたりと迄公言するものあるに至れり。萬葉訓詁の研究は果して此の如く進歩せりや否尙ほ大に疑ふべきものあり。本書は著者が嘗て萩の家舊同人の爲に又大正十四年以來東北帝國大學學生の爲に講義せられたるその草稿を整理して公にせられたるものにして、研究の主點を訓詁に置き博引旁證たらざるなく所説極めて公正穩健些の獨斷を交へず疑はしきは暫く之を措いて後賢の研究に待てり。本書發行以來好評は好評を生み今や萬葉講義の絶對權威として斯界の推重する所となる。好學の諸君子幸に一讀の榮を賜へ。

(第一版購讀者に謹告) 本書再版以後の分には新に漢字索引を添付せり。第一版所有者にして漢字索引のみ希望の向へば實費金二十錢にて頒布す。

東京寶文館發行

日本文法界の最高權威

山田孝雄著 重版出來 紙數實に千五百頁 日本文法論

菊判洋裝背皮
定價金拾圓
送料金廿四錢

歷史的寶典の重版成る。

本書を繙かずして國文を論ずる資格なし!!

從來諸説紛々として歸する處を知らざりし國文法を著者は該博なる學殖を以て精確に從來の諸説を比較評論し且つ英獨學者の説を參酌して科學的に歸一的に統一し、茲に不拔の學說を樹 我が國文典の基礎を確立されたのである。即ち本書は日本文法界の絶對權威書として他の追従を許さざる歴史的名著で堂々一千五百餘頁の大冊、明治三十五年初めてその一部分を上巻として公刊し後六年を経て明治四十一年全部を一冊として發行せられ久しく絶版となつてゐたが、世の需要益々多く出版當時定價四圓五十錢のもの市價四十圓に上りしを見ても本書の價値の如何に高きかを知らざる者が出來る。今回復興して再び世に問ひ、久しく重版を期待せられし全國の熱望者諸賢の御誠意に酬んさずるものである。

日本文法講義

布裝 定價金四圓五拾錢
全一冊 送料金拾八錢

日本口語法講義

布裝 定價金參圓八拾錢
全十冊 送料金拾八錢

敬語法の研究

布裝 定價金三圓八拾錢
全一冊 送料金拾八錢

本書は現代の口語文法を内容とし、往々古代文法の或るものにも論及す。所説精微にして的確、前人未發の言多く、殊に句に人稱を説きたる事、敬語に文法學上の説明を下したる事等は本書特色の一例なり。現代の口語は福雜多端なるが、何人も習慣により大體その用語を誤らざると雖、その語法を説明せんは至難の事なり。本書はこれに關して精細の説明を與ふ。本書は敬語法を口語、候文、普通文の三つに分ち、詳細にその用語を説明せるもの、かく敬語法に關して徹底したる研究を公にせるもの、本書を以て嚆矢とす。

東京寶文館大版

山田孝雄著

大日本國體概論

洋裝全一冊
定價金五拾錢
送料金六錢

明治四十三年時恰も日露戰役終を告げ世は昌年に徂れて鼓腹擊壤の樂を繼にする時、思想界には種々の思想横流して百鬼白晝に跳梁し、未曾有の盛世動もすれば將來衰亡の因たらんとするの勢顯然たるものあり。山田先生慨する所あり、椽大の筆を揮つて我が國體を闡明せられたるもの本書なり。今同字句内容に改訂を加へて再び世に公にせらる。國民一般殊に育英家の一大百讀を望む。

國民精神振作する詔書義解

洋製全一冊
定價金八拾錢
送料金六錢

○御即位
大嘗祭

大禮通義

洋製全一冊
定價金八拾錢
送料金十二錢

○戊申詔書義解

洋製全一冊
定價金五拾錢
送料金六錢

國民道德原論

洋裝全一冊
定價金一圓
送料金八錢

世に國民道德を説くもの少からずと雖、多くは道德を標榜してその實我が國を利せんとするもの外ならず、明治大帝が往年教育勅語を下し賜ひて「之を中外に施して悖らす」と宣ひし宏遠なる聖旨と相距る遠しと謂ふべし。本書は三種の神器によりて表象せらるる、至誠・愛・敬の三徳を基礎として、我が國民の均しく遵守すべき道德を謹嚴に而も痛快に述べられたるもの、萬人必讀を要す。

東京寶文館大坂

文學博士 山田孝雄序 御橋惠言著

平家物語略解

菊判布裝全一冊
定價金七圓八拾錢
送料金貳拾貳錢

漢士文學の輸入、佛教の渡來以後、我國の文藝は鎌倉時代に至りて完成の域に達したるが、平家物語はこの時代の代表の書とも謂ふべきものなれば、漢文と國文との調和を見、文學としての佛教の發達を知らむと欲するには、平家物語を講究するに若くはなし。然るにこの書の註釋ともいへるものにして一二存すれども、吾人の満足し得べきものなきは、國文の研究に従ふ者の爲に頗る遺憾とせしところなり。本書は著者の多年の研究に成る平家物語證註の略述にして、もと初學者の伴侶たらしめんが爲のものなれば、これを平家物語略解とは名づけたれども、山田博士の序文にも見ゆるが如く、世に詳解といへるものにして本書の程度より略なるもの少からず、凡そ平家物語一部の中に事實の證據あるものはその記録を抜き、詞句の典據あるものはその出典を挙げ、讀者の爲に解説を爲すの要ありと思はるる語は、概念を得らるべきを程度として洩すことなくみな註釋を施し、從來の誤を訂せるものも僂指するに堪へざるものあり。故に本書は常に平語の讀者に利益を與ふるのみならず、他の國文を讀む上にも亦必須の書なることを斷言す。なほ卷尾には典據及語釋の索引を添附して披讀の便に供せり。

東京寶文館發行

6890

增訂 哲學辭典

文學博士 朝永三十郎著

布一冊裝

定價金三圓五拾錢
送料金四圓

教育辭典

文學博士 篠原助市著

布一冊裝

定價金五圓八拾錢
送料金四圓

大漢和辭典

文學博士 服部卯之吉總纂

布一冊裝

定價金三拾貳圓
送料金拾貳圓

スタンダード 和英大辭典

神戸高商教授 竹原常太著

布一冊裝

定價金八圓五拾錢
普及版金六圓三拾錢
送料各金三拾錢

中漢和辭典

文學博士 幸田露伴監修

革一冊裝

特價金二圓二拾錢
送料金六圓

中 新 辭 典

文學博士 藤村作監修

革一冊裝

特價金一圓八拾錢
送料金六圓

中 英 和 辭 典

東京高師教授 青木常雄編

革一冊裝

特價金一圓九拾錢
送料金六圓

東 京 寶 文 館 發 行 一 大 阪





